

KENWOOD

デジタルオーディオレコーダー

MGR-E8

取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返しお読みください。本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

☎ お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター



0570-010-114

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8960**

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

※日曜、祝日及び弊社休日を除く

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My-Kenwood) を
お願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細に
つきましては、利用規約等を事前にお読みください。

<http://jp.my-kenwood.com>



目次

本機の特長	3	マイクの録音レベルを手動で調整する	34
安全上のご注意	4	外部マイクを使用して録音する	35
使用上のご注意	10	他のオーディオ機器と接続して録音する	36
付属品の確認	12	録音の設定を変える	37
お使いになる前に		録音ファイルを編集する	
各部の名称とはたらき	13	録音ファイルを移動する	40
画面表示一覧	16	録音ファイルを分割する	42
初めて使うときに		再生する	
電源について	18	再生中の操作と画面	44
電源を入れる	18	レジューム機能	44
電源を切る	18	リスト画面で曲を選んで聞く	46
バッテリー残量表示について	19	いろいろな再生方法	48
パソコンとUSB接続して充電する ..	19	再生設定をする	48
電源を供給しながら使用する	20	A-Bリピートを設定する	49
誤操作を防止する(ホールド機能)	21	再生速度を変える	50
すべてのボタンを操作できなくする ..	21	再生する場所を時間で指定する	51
録音ボタンを操作できなくする	21	お気に入りに追加する/削除する	52
すべてのボタンを操作できるようにする ..	21	お気に入りに追加する	52
初めて電源を入れる	22	お気に入りを再生する	53
ヘッドホンをつなぐ	24	お気に入りに削除する	53
イヤーチップを選ぶ	24	外部機器との接続について	54
microSDカードの出し入れ	25	ライン出力(LINE OUT)端子に	
録音する		接続するとき	54
録音の基本操作	26	USB端子に接続するとき	55
録音の準備	26	デジタルオーディオ	
録音を始める	27	プレーヤーリンクについて	56
録音を止める	28	ファイルを削除する	
風切り音について	28	ファイルを削除する	58
連続録音について	28	ファイルを選択して削除する	58
録音中の操作と画面	30	すべてのファイルを削除する	
録音フォルダと録音ファイルについて ..	32	(フォーマットする)	59
録音ファイルの名前について	32	音を調節する	
録音フォルダについて	32	音量や音質を調整する	60
録音フォルダを切り替える	33	音量を調整する	60
録音の方法を変える	34		

音質を調整する(サウンドモード).... 60

メニュー設定

メニューの共通設定.....	62
時刻を合わせる.....	64
スリープ/アラームタイマーを設定する.....	66

パソコンを活用する

パソコンに接続する.....	68
パソコンに接続する.....	68
パソコンから取り外すときは.....	69
フォルダとファイルの構成.....	70
録音ファイルをパソコンに取り込む... 72	
BeatJamを使用して保存するときは.....	72
Windowsのエクスプローラを 使って保存するときは.....	72
曲をパソコンに取り込み本機に転送する.....	74
BeatJamを使用して曲を パソコンに取り込むときは.....	74
BeatJamを使用して転送するときは.....	74
ドラッグ&ドロップで転送するときは.....	74
音楽ファイルを削除する.....	76
BeatJamを使用して削除するときは.....	76
エクスプローラを使って削除する.....	76

付録

用語解説.....	78
本機を廃棄するときのご注意.....	79
定格.....	80
故障かな?と思ったら.....	82
こんなメッセージが表示されたら.....	85
お問い合わせの前に.....	87
お問い合わせ窓口.....	88
ケンウッド全国サービス網.....	88
保証とアフターサービス.....	90
無料修理規定.....	91
保証書.....	92

本機の特長

高精度な録音を実現する レコーディングテクノロジー

- 録音目的にあわせて3種類のマイクモードから選択可能な「高性能3マイク」
- CDの音質を超える、96kHz 24bit録音へ対応
- 録音シーンに応じて最適なマイク録音を可能とする「REC EQ」
- 屋外での録音に活躍する「ウィンド・スクリーン」付属

原音に忠実なサウンドを実現する サウンドテクノロジー

- 歪みを抑制したクリアな音楽再生を実現する「Class-W」アンプ搭載
- TAG情報で、音楽ファイルの検索ができるリスト表示
- 音楽のジャンルに合わせて、好みの音質で再生できるサウンドモード
- 楽器や語学の練習に便利な、再生スピードコントロール、A-Bリピート機能
- 長時間の録音・再生に便利な「内蔵メモリー(2GB)」と拡張メモリー用「microSDスロット」

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。

（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）



警告

異常について



異常が起きた場合は使用を中止する

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源を切り使用を中止する。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や異臭、異音が消えたのを確かめてから修理にご依頼ください。

使用について



運転中、および歩行中はヘッドホンを使用しない

自転車に乗りながら、または自動車・オートバイなどの運転中、および歩行中にこの機器を使用すると周囲の音が遮断され、警告音などが聞こえにくくなり、交通事故の原因となります。



運転中は操作しない

自動車やオートバイ、自転車など運転中の操作は行わない。交通事故の原因となります。本機を操作するときは、必ず安全な場所に車を停めてから行ってください。



運転中や歩行中は画面を注視しない

交通事故の原因となります。



本製品に付属のイヤーチップを子供の手の届くところに置かない

誤飲をし、窒息による死亡の恐れがあります。万が一イヤーチップを飲み込んだ場合は、吐き出すための救急処置を行い、すぐに医師の診断を受けてください。



雷が鳴り始めたら屋外で使用しない

感電の原因となります。

 **注意****異常について****落としたら使用を中止する**

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

設置について**風呂、シャワー室では使用しない**

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災、液もれの原因となることがあります。

**本機を熱器具に近づけない**

本機を熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。火災、液もれの原因となることがあります。

**湿気やほこりの多い場所に置かない**

油煙や湯気のある調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災、液もれの原因となることがあります。

**温度の高い場所に置かない**

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災、液もれの原因となることがあります。

注意



機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。

あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用について



肌に異常を感じたら使用しない

皮膚に炎症を起こす原因となることがあります。

万一使用して肌や耳に異常を感じたら、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。



耳に病気がある人は使用しない

病気を悪化させる原因となることがあります。

万一使用して肌や耳に異常を感じたら、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。



イヤーチップの取り付けをしっかりと行なう

ヘッドホン本体とイヤーチップの取り付けが不十分ですと、イヤーチップが外れて耳の奥に入り、耳を傷つける原因となることがあります。万一耳の奥で外れてしまった場合は医師の診断を受けてください。



ヘッドホンの脱着は丁寧に行う

耳へのヘッドホンの脱着はゆっくりと丁寧に行ってください。乱暴に脱着を行うと耳を傷つけることがあります。



メモリーカードは乳幼児の手の届かないところに置く

メモリーカードをあやまって飲み込むおそれがありますので注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意



水をかけたり濡らしたりしない

火災・感電の原因となります。

雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

音量について



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。

お手入れ



定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。
販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口にて費用を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

取り扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。本機や記録したデータが破損する原因となります。
- ディスプレイに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものと一緒にバックなどに入れないでください。押されたときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- **汗や湿気に注意する**
本機を夏場の胸ポケットに入れて長時間使用すると内部に水分や汗などが浸入して誤動作、故障の原因となります。

使用温度範囲

温度:5℃～35℃ ただし結露しないこと。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、

プラスチック部品を変形させることがあります。

お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

著作権を守りましょう

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽 CD などを著作権者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で記録したデータを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。
- 権利者の許諾無く、このプレイヤーを賃貸業に使用すること、このプレイヤーに収録されている音を個人的に楽しむ場合以外の目的で複製することおよびネットワーク等を通じて送信できる状態にすることは著作権法で禁じられています。

記録したオーディオについて

- 本機やパソコンの不具合で、データが破損または消去された場合、そのデータ内容および付随的損害(音楽の購入

取得に要した諸費用等を含む)の保証はいたしません。

ファームウェアのバージョンアップ

より良くお使いいただくために、ファームウェアのバージョンアップをすることがあります。

アップデートについては、「<http://www.kenwood.co.jp/>」にてご案内しております。

内蔵電池について

- 内蔵電池は、本機を使用していなくても少しずつ自然放電していきます。本機を長時間放置すると、内蔵電池が放電しきってしまうことがあります。この場合、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などにより変わります。
- 低温の環境で使用すると、再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約 400 回充電できます。(参考値であり、保証する値ではありません)
- 内蔵電池はリチウムイオン電池です。ニッカド電池やニッケル水素電池のように浅い充電や放電を繰り返すと容量が減少してしまうメモリー効果はありません。継ぎ足し充電ができます。
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなった場合、内蔵電池が劣化していると思われます。内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。

- 内蔵電池が放電しきったことによる、記録内容の変化・消失については、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

microSD カードの保管とお手入れ

保管するときは

- 必ずケースに収納して保管してください。
- 極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

汚れたら

- やわらかい布などで、軽くふきとってください。
- シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

その他お守りしていただきたいこと

- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルをはがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。

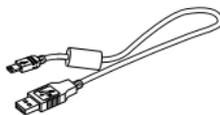
microSD カードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトウェアなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。microSD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

付属品の確認



本体



USBケーブル



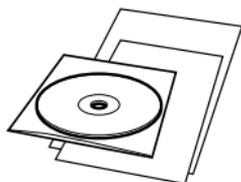
イヤークリップ
(Lサイズ、Sサイズ)



ヘッドホン
(イヤークリップMサイズ付)



ウィンドスクリーン (風防)



BeatJam セットアップガイド/
CD-ROM



取扱説明書 (保証書付)

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

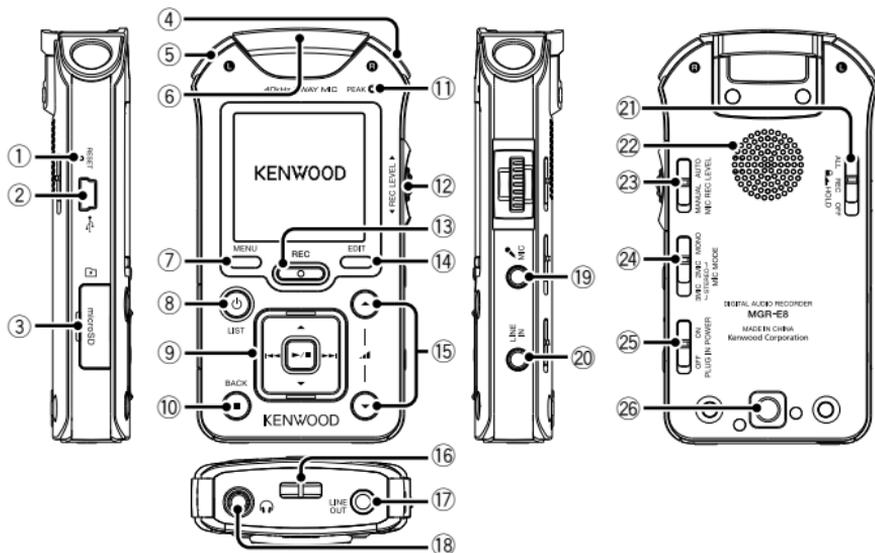
microSDHC は商標です。

「BeatJam[®]」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、[®]マークは明記していません。

各部の名称とはたらき



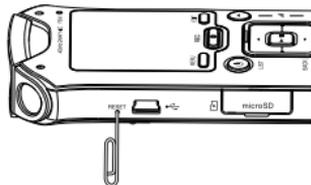
お使いになる前に

① RESET リセットボタン

- ②HOLD ホールドスイッチがOFFになっていることを確認してから、ボタンを押しても操作できない場合にリセットボタン押して電源を切ります。クリップなどでリセットボタンを押すと「カチッ」と感触があります。

《注意》

前回正常に起動した状態になります。今回設定した内容は消去されます。



② USB端子

- 音楽ファイルを転送するときや充電するときに、付属のUSBケーブルでパソコンと接続します。(68ページ)

③ microSDカード挿入口

- microSDカードをセットします。(25ページ)

④ 右側マイク

⑤ 左側マイク

⑥ センターマイク

⑦ MENU メニューボタン

- メニューを表示します。もう一度押すと、メニューを消せます。

各部の名称とはたらき

⑧ **⏻/LIST 電源/リストボタン**

- 電源が切れているときにボタンを押すと、電源をオンします。
- 電源が入っているときにボタンを押し続けると、電源をオフします。
- 停止中または再生中は、リスト画面の第一階層を表示します。
- リスト画面では、再生画面に戻ります。

⑨ **選択/再生ボタン**

▲ 上ボタン

- メニューやリスト画面では、カーソルを上に移動します。
- 停止中または再生中は、リスト画面を表示します。

▼ 下ボタン

- メニューやリスト画面では、カーソルを下に移動します。

◀◀ 左ボタン

- 再生中は、曲の先頭に戻ります。先頭で押すと、1つ前の曲に戻ります。
- 再生中にボタンを押し続けると、押ししている間、早戻しされます。

▶▶ 右ボタン

- メニューやリスト画面では、項目を決定して次へ進みます。
- 再生中は、次の曲に進みます。
- 再生中にボタンを押し続けると、押ししている間、早送りされます。

▶/|| プレイ/ポーズボタン

- 曲を再生/一時停止します。
- メニューやリスト画面では、選んだ項目を決定します。

⑩ ■/BACK ストップ/バックボタン

- 再生中は、再生を停止します。
- 停止中は、表示情報を切り替えます。
- 録音中は、録音を停止します。
- メニューやリスト画面では、1つ前の画面に戻ります。

⑪ PEAK ピークインジケータ

⑫ REC LEVEL 録音レベルツマミ

- 録音中は録音レベルを調整します。(23MIC REC LEVEL マイク録音レベルスイッチをMANUALに設定した場合に調整できます)

⑬ REC 録音ボタン

- 録音スタンバイにします。もう一度押すと録音を開始します。
- 録音中は、一時停止します。もう一度押すと録音を再開します。
- RECインジケータ表示

点灯	録音中です。
点滅	録音スタンバイまたは録音一時停止中です。
消灯	録音停止中です。

⑭ EDIT エディットボタン

- 停止中およびリスト表示中は、ファイル編集を表示します。
- 再生中は、お気に入りの追加/削除とA-Bリピートを設定します。
- 録音スタンバイ中は、自動録音レベル設定になります。
- 録音中に押すと、押したところで録音ファイルを分割します。

⑮  ボリュームボタン

- 音量を大きく () / 小さく () します。ボタンを押し続けると、徐々に音量が変わります。

⑯ ストラップ取り付け部

- ストラップのひもを通す穴です。

《注意》

- ストラップ取り付け部には、金属製のフック形状のもの（キーホルダーなど）を取り付けしないでください。本機が壊れる恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。人に当たり、けがの原因や故障および破損の原因となります。

⑰ LINE OUT ライン出力端子**⑱  ヘッドホン端子**

- 付属のステレオヘッドホンを接続します。

⑲  MIC マイク入力端子**⑳ LINE IN ライン入力端子****㉑ HOLD ホールドスイッチ**

- ALL：すべてのボタン操作を受け付けなくなります。カバンなどに入れて持ち運ぶときに、本機の誤操作を防ぎます。(21 ページ)
- REC：RECボタンの操作を受け付けなくなります。音楽を聞いているときなどに、録音しないように誤操作を防ぎます。

㉒ スピーカー

- ⑰ LINE OUT ライン出力端子と ⑱  ヘッドホン端子に何も接続していない場合は、再生中の曲を聞くことができます。
- 録音中は、音がでません。

㉓ MIC REC LEVEL マイク録音レベルスイッチ

- 内蔵マイクまたは外部マイク入力するとき、録音レベルを手動で調整する (MANUAL) か入力信号に合わせて自動的に調整する (AUTO) かを設定します。

㉔ MIC MODE マイクモードスイッチ

- 内蔵マイクするとき、マイクモードをモノラル、2マイクおよび3マイクに設定します。

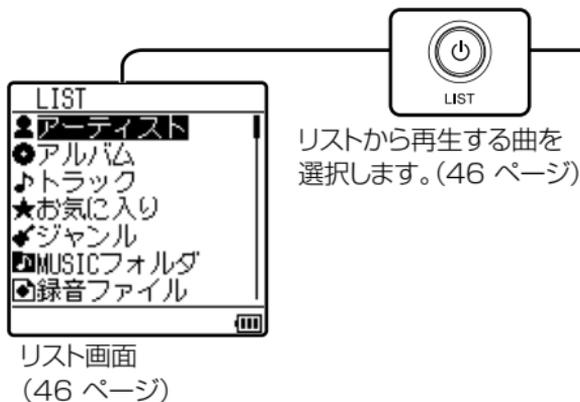
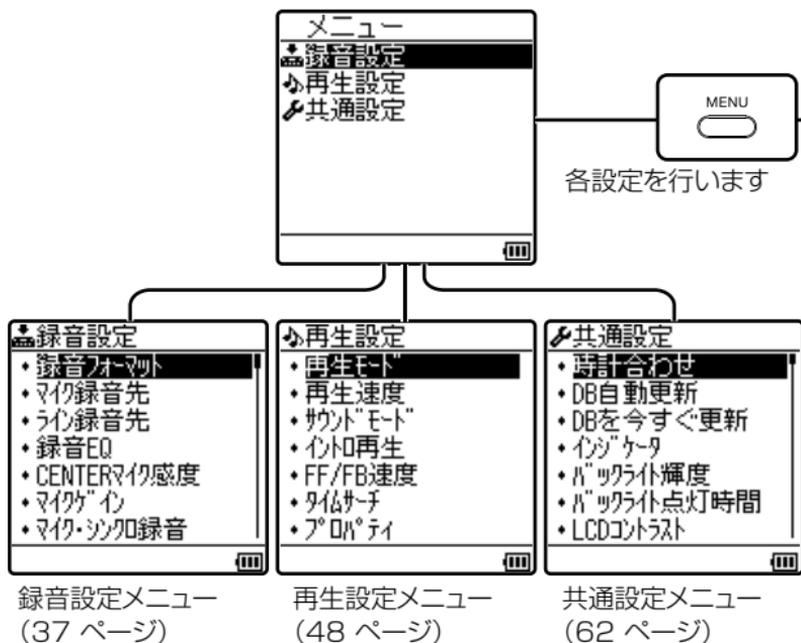
㉕ PLUG IN POWER プラグインパワースイッチ

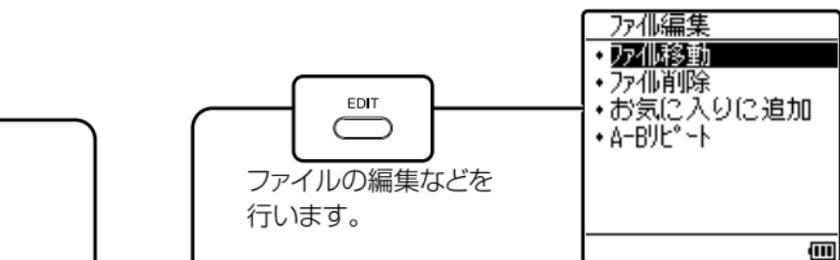
- プラグインパワー対応外部マイクを使用しているときにオンします。

㉖ 三脚取り付け用穴

画面表示一覧

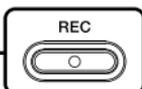
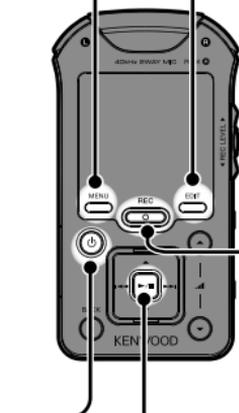
お使いになる前に



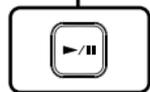


ファイル編集画面

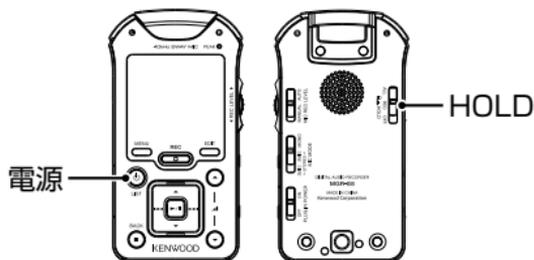
- ファイル移動 (40 ページ)
- ファイル分割 (42 ページ)
- ファイル削除 (58 ページ)
- お気に入り (52 ページ)
- A-Bリピート (49 ページ)



録音スタンバイになり、
もう一度押すと録音を開始します。(26 ページ)



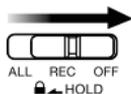
電源について



初めて使うときに

電源を入れる

- 1 ホールド機能を解除する
[HOLD]を“OFF”にスライドします。

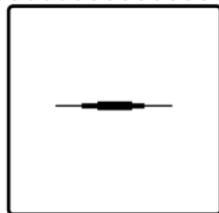


- 2 電源を入れる
[電源]を押すと、ケンウッドのロゴが表示されます。

KENWOOD

電源を切る

- 1 電源を切る
[電源]を1秒以上押します。

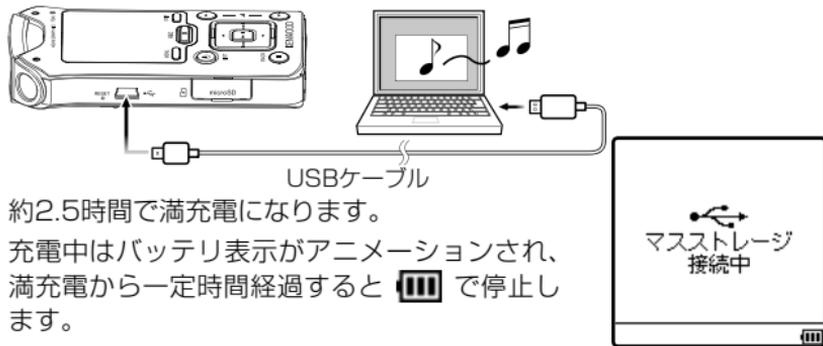


- 停止したまま一定時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ）。オートパワーオフの時間は変更できます（62 ページ）。

パソコンとUSB接続して充電する

本機には充電式電池（以降、「バッテリー」）が内蔵されており、パソコンとUSBケーブルで接続して充電します。

- 1 パソコンを起動する
- 2 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する
- 3 本機のUSB端子へUSBケーブルを接続する



約2.5時間で満充電になります。

充電中はバッテリー表示がアニメーションされ、満充電から一定時間経過すると  で停止します。

- 4 パソコンから取り外す（69 ページ）

- 必要なパソコンのシステム構成は「定格」（80 ページ）をご覧ください。
- 本機は、パソコンに接続すると自動的に電源がオンになります。
- USB接続は付属のUSBケーブルを使用してください。
- パソコンのUSBポートに直接接続してください。USBハブを使用して接続した場合の動作保証はいたしません。
- パソコンでデータを転送中は充電できません。常時ファイルを読み込むソフトウェアは停止してください。

バッテリー残量表示について

画面の右下にバッテリーの状態がアイコンで表示されます。

 →  → 	電池の残量を表示します。
	電池の残量がありません。充電してください。
	充電できません。使用温度範囲内で充電してください。(80 ページ)

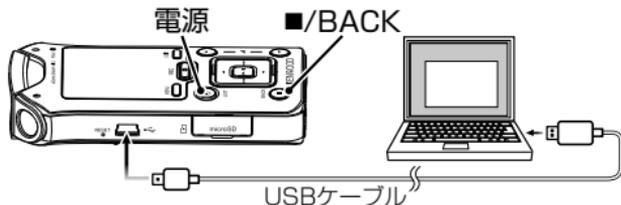
▶ 次ページへ続く

電源を供給しながら使用する

外部電源としてパソコンのUSB端子から電源を供給して長時間の録音や再生ができます。

初めて使うときは

- 1 パソコンを起動する
- 2 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する
- 3 本機の電源を切る
[電源]を1秒以上押します。
- 4 [■/BACK]を押しながら、本機のUSB端子へUSBケーブルを接続する



■ 終了するとき

- 5 電源を切る
[電源]を1秒以上押します。
- 6 本機からUSBケーブルを抜く



• 電源を供給しながら使用するモード中は下記の動作ができません。

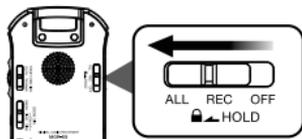
- バッテリー表示
 - 内蔵電池を充電する
 - パソコンからの操作
- USB接続は付属のUSBケーブルを使用してください。
- パソコンのUSBポートに直接接続してください。USBハブを使用して接続した場合の動作保証はいたしません。
- 電源を供給しながら使用する場合の連続録音時間は、1ファイルにつき最大24時間までです。「連続録音について」(28 ページ)をご覧ください。

誤操作を防止する（ホールド機能）

本機をカバンなどに入れて携帯するときなど、誤操作を防ぐためにすべてのボタンを無効にすること（ホールド機能）ができます。

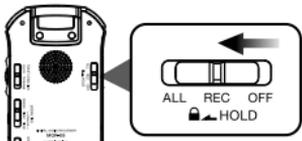
すべてのボタンを操作できなくする

- 1 ホールド機能をすべてのボタンに設定する
[HOLD]を“ALL”にスライドします。



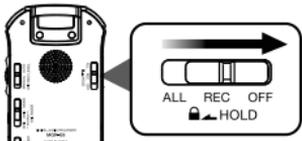
録音ボタンを操作できなくする

- 1 ホールド機能をRECボタンに設定する
[HOLD]を“REC”にスライドします。



すべてのボタンを操作できるようにする

- 1 ホールド機能を解除する
[HOLD]を“OFF”にスライドします。

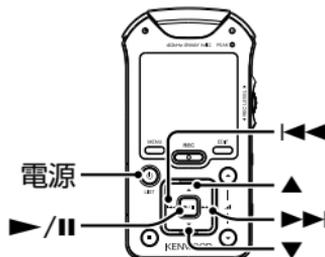


- ホールド機能中にボタンを押すと、画面に「ALLホールド設定中」または「RECホールド設定中」と表示されます。

初めて電源を入れる

お買い上げ後、初めて本機の電源を入れたときには、ご使用になる言語と日時を設定します。

録音した日と時間が録音ファイルの名前になります（タイムスタンプ機能）ので、正確に日時を設定しておくことをおすすめします。



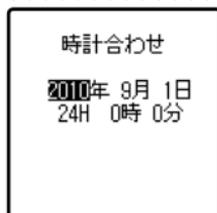
初めて使うときに

- 1 電源を入れる
[電源]を押すと、ケンウッドのロゴが表示されます。

- 2 言語を設定する
[▲]または[▼]を押して使用する言語を選び、
[▶/||]を押して決定します。



- 3 日時を合わせる
■ [◀◀]または[▶▶]を押して「西暦」、「月」、「日」、
「24H/AM/PM」、「時」、「分」を選択します。
■ [▲]または[▼]を押して日時を変更します。

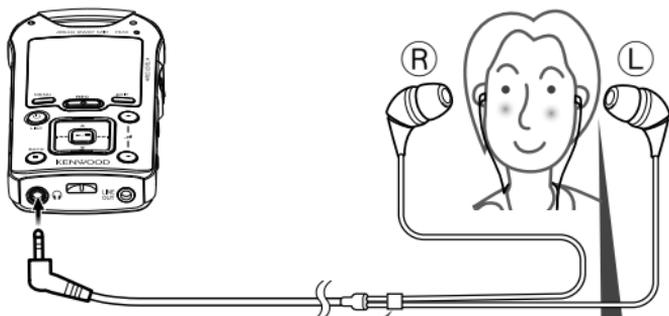


- 4 日時を決定する
[▶/||]を押します。

-
- 
- ここで設定した言語で画面が表示されます。
 - 本機の電源をオフにしても、ここで設定した言語と日時は保持されます。
 - あとから共通設定の「言語/Language」(62 ページ)および、「時計合わせ」(64 ページ) で変更することができます。
 - 内蔵電池の容量が少ない場合は、パソコンに接続して充電してください。約10分の充電で動作の確認が可能となります。(19 ページ)

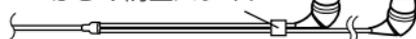
ヘッドホンをつなぐ

付属のステレオヘッドホンを本機に接続します。



初めて使うときは

からみ防止スライダー



からみ防止スライダーをスライドしてヘッドホン本体を固定することで、コードがからみにくくなります。

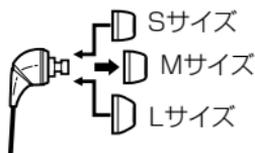


ヘッドホン本体を持って、耳へ挿入します。

イヤータップによって耳の穴が完全にふさがれた状態が最適な状態です。

イヤータップを選ぶ

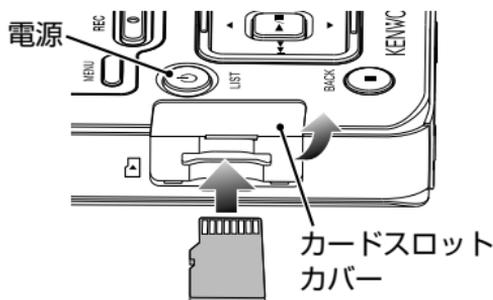
お買い上げ時はMサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のSサイズまたはLサイズに交換してください。



- ヘッドホンの脱着は、ヘッドホン本体を持ってゆっくりおこなってください。コードを引っばると故障の原因となります。
- イヤータップのお手入れは、ヘッドホン本体からイヤータップを外してから、うすめた中性洗剤で洗ってください。洗浄後は、水気をよく拭き取ってからご使用ください。
- イヤータップは、長期の使用・保存により劣化することがあります。交換用イヤータップのご購入に関するお問い合わせは、販売店までお願い致します。

microSDカードの出し入れ

本機では、microSDカードに保存された曲の再生や録音ができます。本機は、microSDおよびmicroSDHCメモリーカードが使用できます。詳しくは、「定格」（80 ページ）をご覧ください。



初めて使うときは

1 [電源]を1秒以上押して電源を切る

2 カードスロットのカバーを開く

3 microSDカードを出し入れする

■ microSDカードを挿入する

カードスロットにmicroSDカードを図のように端子面を上側にしてまっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

■ microSDカードを取り出す

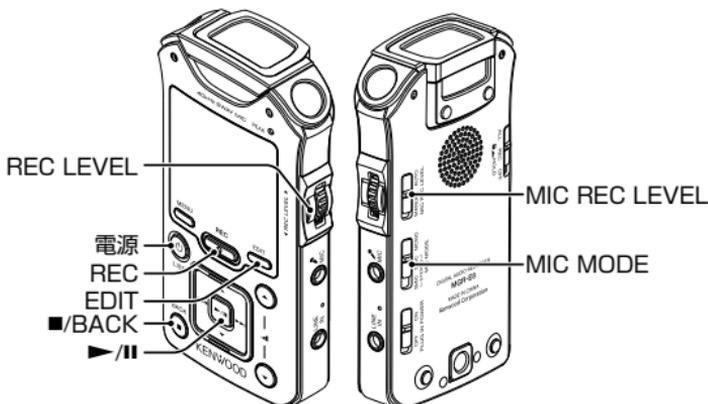
microSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込みます。microSDカードが少し飛び出しますので、ゆっくりと引き抜いてください。

4 カードスロットのカバーを閉じる

💡 携帯電話など他機器でフォーマットしたmicroSDおよびmicroSDHCカードは使用できないことがあります。必ず本機でフォーマットしてから使用してください。（59 ページ）

- DB自動更新を手動更新に設定している場合は、microSDカード内のファイルが表示されません。DBの更新を行ってください。（62 ページ）
- microSDカードを挿入していると、画面に **[SD]** が表示されます。

録音の基本操作



録音の準備

- 1 電源を入れる
[電源]を押します。
- 2 録音するフォーマットを選択する
録音設定の“録音フォーマット”で選択します。(37 ページ)
初期設定はWAV44.1kHz 16bitになっています。
- 3 録音するフォルダを選択する
録音設定の“マイク録音先”で選択します。(33 ページ)
初期設定は内蔵メモリのMIC_Aフォルダになっています。
- 4 マイクモードを設定する
[MIC MODE]をスライドしてマイクモードを設定します。

設定	内容	表示
3MIC	L、R（無指向性）とCENTER（単一指向性）マイクを使ったステレオモードで録音します。周囲の騒音を抑制し、正面方向の指向性を高めた録音が可能です。	
2MIC	120度の角度で取り付けられた、LとR（無指向性）マイクを使ったステレオモードで録音します。ステレオ感や広がり感のある録音が可能です。	

設定	内容	表示
MONO	CENTER (単一指向性) マイクを使ったモノラルモードで録音します。正面方向に指向性のある録音が可能です。	

5 録音レベルを設定する

- 自動で録音レベルを設定するときは
[MIC REC LEVEL]を“AUTO”にスライドします。
音全体をなるべく均一レベルにして録音しますので、会議や講演などの録音に適しています。
- 手で録音レベルを設定するときは
[MIC REC LEVEL]を“MANUAL”にスライドします。(34 ページ)

録音を始める

1 録音スタンバイにする

[REC]を押します。

が表示されます。

- 手で録音レベルを設定するときは
[REC LEVEL]を回して調整します。(34 ページ)



2 録音を開始する

録音スタンバイ中に[REC]を押します。

が表示されます。

- 録音を一時停止する
[REC]を押します。もう一度[REC]を押すと録音を再開します。
が表示されます。
- 新しい録音ファイルに替える
録音中に[EDIT]を押します。

▶ 次ページへ続く

録音を止める

- 1 録音を停止する
[■/BACK]を押します。

風切り音について

屋外での録音時に、風が強く吹いているときの「風切り音」が気になる場合、本体に付属のウィンドスクリーンを付けて使用して下さい。風切り音の低減に効果があります。

連続録音について

1つのファイルに録音できる容量は、ファイルサイズで2GBまでです。ファイルサイズが2GBを超えると自動的に新しいファイルに替わり録音を継続します。

録音フォーマットによって、録音できる最長時間が異なります。

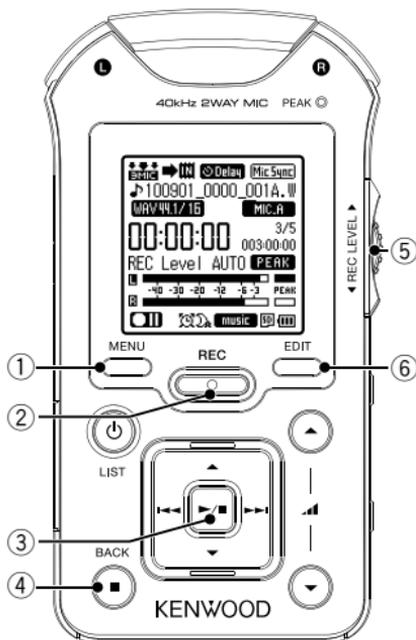
録音フォーマット	最長録音時間
WAV 96kHz 24bit	約55分
WAV 48kHz 24bit	約1時間50分
WAV 44.1kHz 24bit	約2時間
WAV 96kHz 16bit	約1時間20分
WAV 48kHz 16bit	約2時間45分
WAV 44.1kHz 16bit	約3時間
MP3 320kbps	約13時間30分
MP3 192kbps	約22時間30分
MP3 128kbps	約24時間*1 / 約30時間*2
MP3 96kbps	約24時間*1 / 約30時間*2

*1 電源を供給しながら使用する場合、1ファイルにつき最大24時間までの録音となります。(20 ページ)

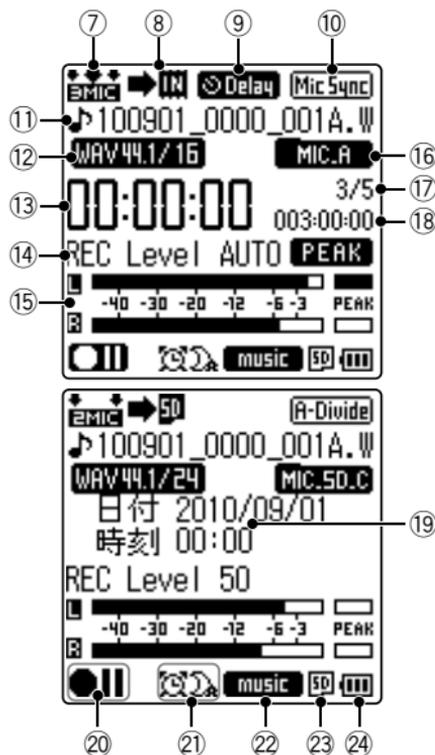
*2 内蔵電池を使用した録音の場合、内蔵電池の持続時間までの録音となります。(内蔵メモリに録音する場合の目安です。SDカードに録音する場合の持続時間は短くなります。)

-
- 
- 録音中は内蔵スピーカーから音が出ません。
 - ヘッドホンを接続すると録音中の音を聞くことができます。ヘッドホンからの音量は[.Ll ▲]または[.Ll ▼]を押して調整します。録音される音量に影響はありません。
 - ヘッドホンで録音中の音を聞いているとき、ヘッドホンがマイクと近すぎると「ピー」という音（ハウリング）がする場合があります。ヘッドホンとマイクを離すか、ヘッドホンの音量を小さくしてください。

録音中の操作と画面



表示例

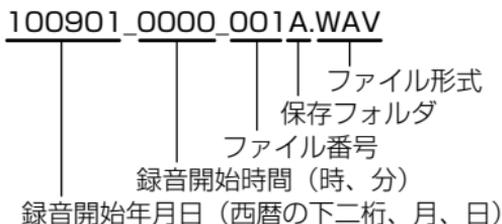


- ① **MENU メニューボタン**
- 停止中や録音スタンバイ中は、メニューを表示します。録音フォーマットなどの設定ができます。(37 ページ)
- ② **REC 録音ボタン**
- 停止中は、録音スタンバイになります。
 - 録音スタンバイ中は、録音を開始します。
 - 録音中は、録音を一時停止します。
- ③ **▶/|| プレイ/ポーズボタン**
- 停止中は、録音したファイルを再生します。
- ④ **■/BACK ストップ/バックボタン**
- 録音中および録音スタンバイ中は、録音を停止します。
 - 停止中は、録音時間と現在日時の表示を切り替えます。
- ⑤ **REC LEVEL 録音レベルツマミ**
- 録音レベルを調整します。(34 ページ)
- ⑥ **EDIT エディットボタン**
- 録音スタンバイ中は、自動録音レベル設定になります。(34 ページ)
 - 録音中は、録音ファイルを分割します。
 - 停止中は、ファイル編集を表示します。
- ⑦ **マイクモード**(26 ページ)
- ⑧ **保存先**(37 ページ)
- ⑨ **ディレイ録音**(38 ページ)
- ⑩ **シンクロ録音/
オートデバインド録音**(38 ページ)
- ⑪ **録音ファイル名**
- ⑫ **録音フォーマット**(37 ページ)
- ⑬ **録音経過時間**
- ⑭ **設定録音レベル**
- ⑮ **レベルメータ**
- ⑯ **保存先フォルダ**(37 ページ)
- ⑰ **ファイル番号/
保存フォルダ内のファイル数**
- ⑱ **録音可能時間**
- ⑲ **現在の日付と時刻**
- ⑳ **録音状態**
-  : 録音スタンバイ中
-  : 録音中
-  : 録音一時停止中
-  : 停止中
- ㉑ **スリープタイマー/
アラームタイマー**(66 ページ)
- ㉒ **録音EQ**(37 ページ)
- ㉓ **microSDカード**(25 ページ)
- ㉔ **電池残量**(19 ページ)

録音フォルダと録音ファイルについて

録音ファイルの名前について

本機で録音したファイルは、録音を開始した日時になります。

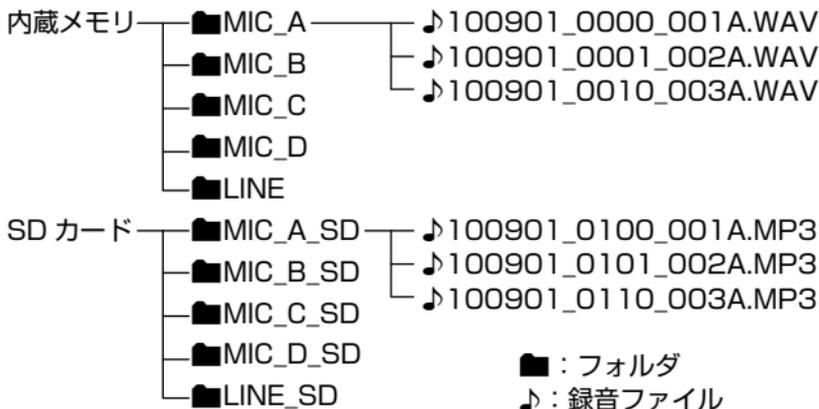


保存フォルダのA～DはMIC_AからD、LはLINEを表します。

ファイル番号は、録音フォルダ内で連番の数字となります。ファイルの削除、分割、移動を行うとファイル番号が変わります。

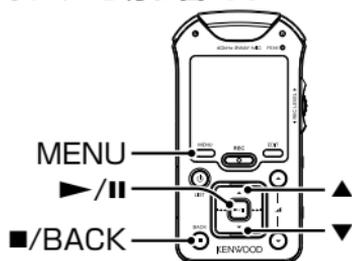
録音フォルダについて

録音フォルダは、内蔵メモリとSDカードのそれぞれにマイク録音用のMIC_AからMIC_Dフォルダと、ライン録音用のLINEフォルダがあります。



- ひとつのフォルダには最大199のファイルが録音できます。
- パソコンから本機で録音したファイルの名前を変更すると再生できなくなります。

録音フォルダを切り替える



- 1 メニュー画面を表示する
停止中または録音スタンバイ中の画面で[MENU]を押します。
録音スタンバイ中に[MENU]を押した場合は手順3へ進みます。
- 2 録音設定を選択する
[▲]または[▼]を押して「録音設定」を選び、[▶/||]を押します。

- 3 録音先を設定をする
■ マイクの録音先を設定するには ...
[▲]または[▼]を押して「マイク録音先」を選び、[▶/||]を押します。

[▲]または[▼]を押して「内蔵メモリ」または「SDカード」を選び、[▶/||]を押します。

[▲]または[▼]を押して録音フォルダ (MIC_AからMIC_D) を選び、[▶/||]を押します。

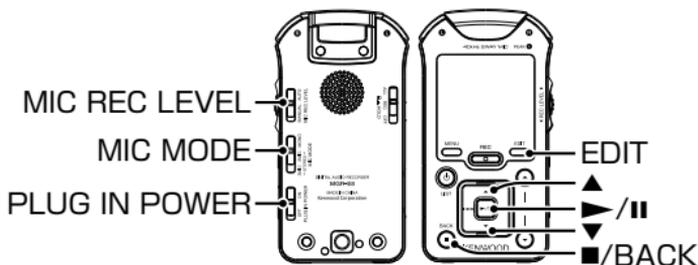
✓印は現在の設定を表します。



- ラインの録音先を設定するには ...
[▲]または[▼]を押して「ライン録音先」を選び、[▶/||]を押します。
[▲]または[▼]を押して「内蔵メモリ」または「SDカード」を選び、[▶/||]を押します。
- 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。

- 4 メニュー画面を終了する
[MENU]を押します。

録音の方法を変える



録音する

マイクの録音レベルを手動で調整する

1 録音レベルをMANUALに設定する
[MIC REC LEVEL]を“MANUAL”にスライドします。

2 録音スタンバイにする
[REC]を押します。

3 録音レベルを調整する
[REC LEVEL]を回して調整します。
録音レベルは、レベルメータとPEAK表示を見て、-6から-12dBを目安に調整します。

■ 自動録音レベル設定を使用するときは
録音スタンバイ中に[EDIT]を押します。

入力された最大の音量に合わせて録音レベルが設定されます。

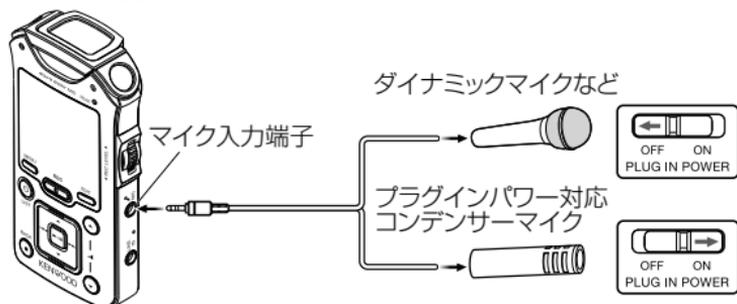
[EDIT]を押して自動録音レベル設定を終了します。

■ [REC LEVEL]を下げても録音レベルが大きい場合は
録音設定の“マイクゲイン”をLOWに設定します。(37 ページ)

■ 突然の大きい音を自動で調整し音の歪を抑えるには
録音設定の“アナログリミッター”を設定します。(38 ページ)



外部マイクを使用して録音する



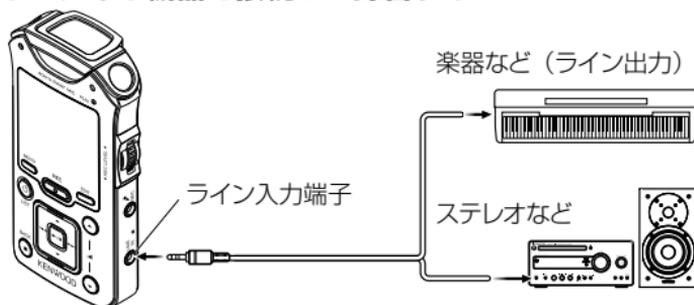
- 1 外部マイクを接続する
 [MIC]端子に外部マイクを接続します。
 ■ プラグインパワー方式のマイクを接続するときは
 [PLUG IN POWER]を“ON”にスライドします。
- 2 録音の準備をして録音を始める
 「録音の基本操作」(26 ページ)を参照して録音を始めます。



・ [LINE IN]端子には何も接続しないでください。

▶ 次ページへ続く

他のオーディオ機器と接続して録音する



- 1 オーディオ機器を接続する
[LINE IN]端子に他のオーディオ機器を接続します。
- 2 録音スタンバイにする
[REC]を押します。
- 3 録音レベルを調整する
[REC LEVEL]を回して調整します。
録音レベルは、レベルメータとPEAK表示を見て、-6から-12dBを目安に調整します。
 - 自動録音レベル設定を使用するときは
録音スタンバイ中に[EDIT]を押します。
入力された最大の音量に合わせて録音レベルが設定されます。
[EDIT]を押して自動録音レベル設定を終了します。
- 4 録音を開始する
録音スタンバイ中に[REC]を押します。



・ [MIC]端子には何も接続しないでください。

録音の設定を変える

録音する音の種類に合わせていろいろな設定ができます。

項目	設定値		内容	内蔵マイク	外部マイク	ライン
録音フォーマット	WAV 96kHz 24bit/ WAV 48kHz 24bit/ WAV 44.1kHz 24bit/ WAV 96kHz 16bit/ WAV 48kHz 16bit/ WAV 44.1kHz 16bit*		リニアPCM形式の非圧縮で記録します。 数値が大きいかほど高音質になります。 音楽CDの作成などの録音にはサンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bitが適しています。	●	●	●
	MP3 320kbps/ MP3 192kbps/ MP3 128kbps/ MP3 96kbps		MP3形式で圧縮して記録します。 数値が大きいかほど音質が良くなります。 数値が小さいほど長時間録音ができます。			
マイク録音先	内蔵メモリ	MIC_A*/ B/C/D	マイクで録音した録音ファイルを保存するフォルダを設定します。	●	●	
	SDカード	MIC_A/B/ C/D_SD	演奏会や練習など録音する内容でフォルダを分けると便利です。			
ライン録音先	内蔵メモリ*		ライン入力で録音した録音ファイルを保存するフォルダを設定します。			●
	SDカード					
録音EQ	オフ*/Music/Voice/ Vocal/Noise cut		周囲の雑音を軽減するなど、録音する音に合わせてイコライザーを設定できます。 MIC REC LEVELをMANUALに設定した場合に有効です。	●	●	
CENTERマイク感度	High/Normal*/Low		3マイクモードで録音する場合、センターマイク感度（混合する割合）を設定します。	●		
マイクゲイン	High*/Low		通常はHighで使用します。大きな音を録音するときはLowに設定します。	●	●	

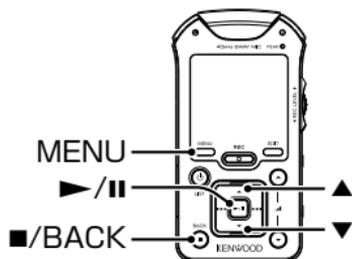
録音の設定を変える

項目	設定値	内容	内蔵マイク	外部マイク	ライン
マイク・シンクロ録音	オフ*/オン	音の始まりに合わせて録音を開始します。無音状態が2秒続くと一時停止します。 MIC REC LEVELをAUTOに設定した場合に有効です。	●	●	
アナログリミッター	オフ*/オン	オンにすると、突然の大きい音を自動で調整し、音の歪を抑えることができます。 MIC REC LEVELをMANUALに設定した場合に有効です。	●	●	
ローカットフィルター	オフ*/オン	オンにすると、低い周波数の音をカットし空調音などのノイズや風切り音を軽減できます。	●	●	
ディレイ録音	オフ*/5秒/10秒/30秒	楽器の練習など録音の開始まで準備が必要な場合、録音ボタンを押してから実際に録音を開始するまでの時間を設定します。	●	●	●
ライン・オートデバイド	オフ*/オン	無音部分が2秒以上続くと新しい録音ファイルに録音します。			●
オート・デバイドレベル	High/Mid*/Low	音楽の始まりを検出する音量を設定します。			●

(*印はお買い上げ時の設定です)



マイク・シンクロおよびライン・オートデバイドで録音する場合、音の始まりを検出して録音を開始するため、始まりの音が録音されないことがあります。大切な録音をする場合には使用せず、あとから録音ファイルを分割してください。(42 ページ)

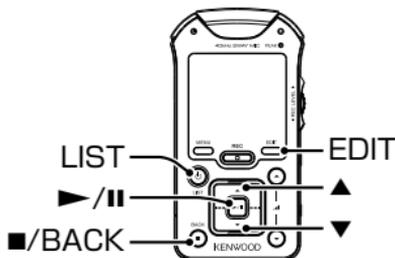


- 1 メニュー画面を表示する
 停止中または録音スタンバイ中の画面で[MENU]を押します。
 録音スタンバイ中に[MENU]を押した場合は手順3へ進みます。
- 2 録音設定を選択する
 [▲]または[▼]を押して「録音設定」を選び、[▶/||]を押します。
- 3 各設定をする
 [▲]または[▼]を押して項目を選び、[▶/||]を押します。
 [▲]または[▼]を押して設定値を選び、[▶/||]を押します。
 ✓印は現在の設定を表します。
 ■ 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。
- 4 メニュー画面を終了する
 [MENU]を押します。



録音ファイルを移動する

本機で録音したファイルは、内蔵メモリとSDカードの間で移動することができます。ファイルを移動すると元のファイルは削除されます。



録音ファイルを編集する

- 1 リスト画面を表示する
[LIST]を押します。
- 2 録音ファイル項目を選択する
[▲]または[▼]を押して「録音ファイル」を選び、[▶/||]を押します。
- 3 フォルダを選択する
[▲]または[▼]を押して「内蔵メモリ」または「SDカード」を選び、[▶/||]を押します。
[▲]または[▼]を押して「MIC_AからD」または「LINE」を選び、[▶/||]を押します。
- 4 移動する録音ファイルを選択する
[▲]または[▼]を押して録音ファイルを選び、[▶/||]を押します。
- 5 停止状態にする
[■/BACK]を押します。
- 6 ファイル編集画面を表示する
[EDIT]を押します。
- 7 ファイル移動を選択する
[▲]または[▼]を押して「ファイル移動」を選び、[▶/||]を押します。

8 録音ファイルを移動する
[▲]または[▼]を押して「SDカードへ」または「内蔵メモリへ」を選び、
[▶/||]を押します。

■ 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。

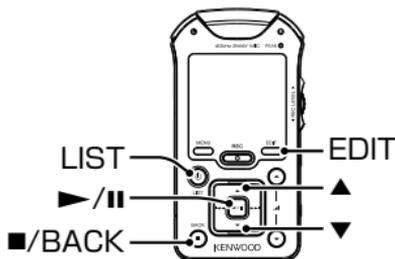
9 ファイル編集画面を終了する
[EDIT]を押します。



- 本機で録音したファイルのみ移動できます。
- 録音ファイルの移動は、指定フォルダの間で移動します。
例：「内蔵メモリ」 - 「MIC_A」 ⇄ 「SDカード」 - 「MIC_A_SD」
- 録音ファイルを移動すると、ファイル名のファイル番号が変わります。

録音ファイルを分割する

本機で録音したファイルは、2つに分割することができます。



録音ファイルを編集する

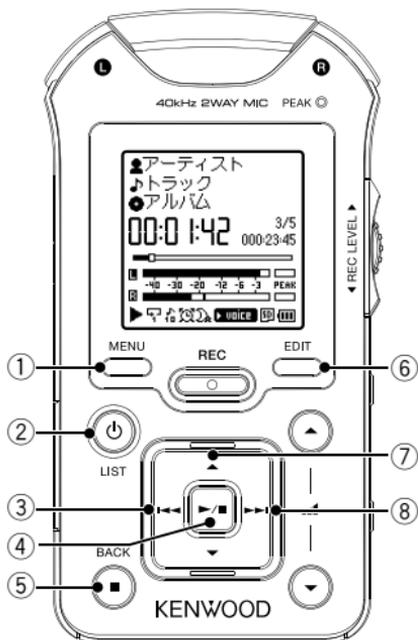
- 1 リスト画面を表示する
[LIST]を押します。
- 2 録音ファイル項目を選択する
[▲]または[▼]を押して「録音ファイル」を選び、[▶/||]を押します。
- 3 フォルダを選択する
[▲]または[▼]を押して「内蔵メモリ」または「SDカード」を選び、[▶/||]を押します。
[▲]または[▼]を押して「MIC_AからD」または「LINE」を選び、[▶/||]を押します。
- 4 分割する録音ファイルを選択する
[▲]または[▼]を押して録音ファイルを選び、[▶/||]を押します。
- 5 ファイル編集画面を表示する
分割したい位置で[EDIT]を押します。
- 6 録音ファイルを分割する
[▲]または[▼]を押して「ファイル分割」を選び、[▶/||]を押します。
確認画面が表示されますので、[▲]または[▼]を押して「はい」を選び、[▶/||]を押します。
■ 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。



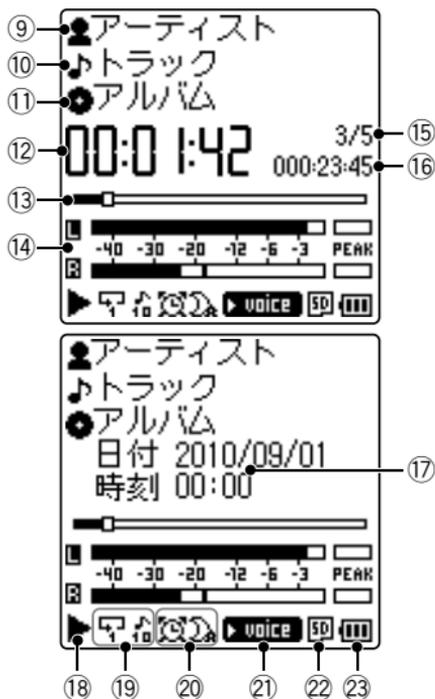
- 本機で録音したファイルのみ分割できます。
- 下記の場合、録音ファイルの分割ができません。
 - フォルダ内に199ファイル録音しているとき
 - 録音時間の短いファイル
 - 録音時間の最後に近い位置で分割するとき
 - 内蔵メモリまたはmicroSDカードに空き容量がないとき
- 録音ファイルを分割すると、ファイル名のファイル番号が変わります。

再生中の操作と画面

再生する



表示例



レジューム機能

本機では電源を切る前の状態を記憶しています。次回の起動時は電源を切った位置で一時停止となります。

- ① **MENU メニューボタン**
メニューを表示します。再生モードなどの設定ができます。(48 ページ)
- ② **Ⓛ/LIST 電源/リストボタン**
リスト画面の第一階層を表示します。
- ③ **⏪ 左ボタン**
現在の曲、前の曲の先頭から再生します。
押し続けると、押している間、曲を早戻しします。
- ④ **▶/|| プレイ/ポーズボタン**
再生中に押すと再生を一時停止します。
もう一度押すと曲の再生を始めます。
- ⑤ **■/BACK ストップ/バックボタン**
- 再生中は、再生を停止します。
 - 停止中は、再生時間と現在日時の表示を切り替えます。
- ⑥ **EDIT エディットボタン**
- 再生中は、お気に入りの追加/削除とA-Bリピートを設定します。
 - 停止中は、ファイル編集を表示します。
- ⑦ **▲ 上ボタン**
リスト画面を表示します。
- ⑧ **▶▶ 右ボタン**
次の曲の先頭から再生します。
押し続けると、押している間、曲を早送りします。
- ⑨ **アーティスト名**
- ⑩ **曲名**
- ⑪ **アルバムタイトル**
- ⑫ **再生経過時間**
- ⑬ **経過時間プログレスバー**
- ⑭ **レベルメータ**
- ⑮ **トラック番号/
選択されたトラック数**
- ⑯ **トータル再生時間**
- ⑰ **現在の日付と時刻**
- ⑱ **再生状態**
- ▶: 再生中
 - ||: 一時停止中
 - ▶▶: 早送り中
 - ⏪: 早戻し中
 - : 停止中
- ⑲ **再生モード(48 ページ)**
- ⑳ **スリープタイマー/
アラームタイマー(66 ページ)**
- ㉑ **サウンドモード(60 ページ)**
- ㉒ **SDカード(25 ページ)**
- ㉓ **電池残量(19 ページ)**

リスト画面で曲を選んで聞く

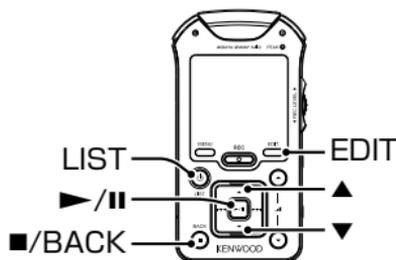
本機で録音した録音ファイルは、保存フォルダを選択して再生します。また、パソコンから転送した音楽ファイルは、タグ情報で分類したDB（データベース）の中から探すことができます。（74 ページ）

カテゴリ	内容
 アーティスト	パソコンから取り込んだ音楽ファイルを アーティスト名* ³ → アルバム名* ¹ → 曲名* ¹ の順に選択します。
 アルバム	パソコンから取り込んだ音楽ファイルを アルバム名* ¹ → 曲名* ¹ の順に選択します。
 トラック	パソコンから取り込んだ音楽ファイルを 曲名* ² で選択します。
 お気に入り	登録されている曲のリストから選択します。（52 ページ）
 ジャンル	パソコンから取り込んだ音楽ファイルを ジャンル名* ³ → アーティスト名* ³ → アルバム名* ¹ → 曲名* ¹ の順に選択します。
 MUSICフォルダ	内蔵メモリとSDカードを選択したあと、フォルダ階層をたどって音楽ファイルを選択します。
 録音ファイル	本機で録音した録音ファイルを 内蔵メモリ/SDカード → 保存フォルダ → ファイル名の順に選択します。
 KWDフォルダ	内蔵メモリとSDカードを選択したあと、フォルダ階層をたどって音楽ファイルを選択します。

再生する



- DB自動更新を手動更新に設定している場合は、音楽ファイルを転送したあとDBの更新を行ってください。（62 ページ）
- アーティスト、アルバム、トラック、ジャンルは、内蔵メモリとSDカードそれぞれのMUSICフォルダとKWDフォルダ内の音楽ファイルをあわせて表示します。
- 曲にタグ情報が記録されていないと「No Information」に分類されます。
- 曲の再生順は、下記の情報の順番になります。
 - *¹ トラック番号順：タグ情報のトラック番号の番号順になります。トラック番号が無い場合はトラックタイトルまたはファイル名の名前順になります。
 - *² 曲名順：タグ情報のトラックタイトルまたはファイル名の名前順になります。
 - *³ アルバム名順：タグ情報のアルバムタイトルまたはフォルダ名の名前順になります。アルバム内はトラック番号順になります。



1 リスト画面を表示する

■ 第一階層を表示する場合

[LIST]を押します。

■ 再生中の音楽ファイルの階層を表示する場合

[\blacktriangle]を押します。

2 聞きたい曲のカテゴリを選択する

[\blacktriangle]または[\blacktriangledown]を押してカテゴリを選び、[$\blacktriangleleft</math>/PAUSE]を押します。$

3 聞きたい曲を選択する

[\blacktriangle]または[\blacktriangledown]を押して項目を選び、[$\blacktriangleleft</math>/PAUSE]を押して決定します。目的の音楽ファイルが表示されるまで繰り返し操作します。$

例えば、アーティストを選択した場合は「アーティスト」→アーティスト名→アルバム名→曲名と順に選択します。

「全トラック」を選択した場合は、アーティストなど選択しているすべての曲を表示します。

■ 1つ前の画面に戻るときは、[$\blacksquare</math>/BACK]を押します。$



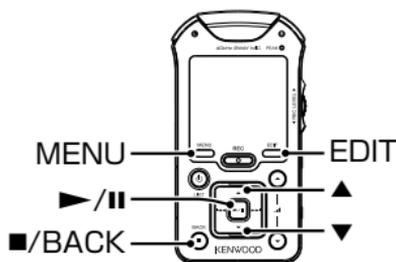
 「MUSICフォルダ」または「KWDフォルダ」を選択した場合は、フォルダの階層に合わせて、手順3の操作を繰り返す必要があります。

いろいろな再生方法

再生設定でいろいろな再生方法を選択できます。

設定項目	設定値	内容	表示
再生モード	オフ	リスト内の曲を再生し停止します。	
	1曲リピート	同じ曲を繰り返し再生します。	
	ALLリピート	リスト内の曲を繰り返し再生します。	
	ランダム	リスト内の曲をランダムに再生し、これを繰り返します。	
再生速度	200% ~ 100% ~ 50%	再生する速度を変えることができます。(50 ページ) 200% ~ 100% : 10%ステップ 100% ~ 50% : 5%ステップ	
	イントロ再生	オフ オン	リスト内の各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
FF/FB速度	High/Mid/Low	早送り、早戻りする速度を3段階で変えることができます。	
タイムサーチ	-	聞きたい場所を再生時間で指定します。(51 ページ)	
プロパティ	-	音楽ファイルの情報(フォーマットなど)を表示します。	

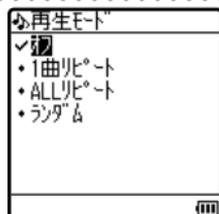
再生する



再生設定をする

- 1 メニュー画面を表示する
[MENU]を押します。
再生中に[MENU]を押した場合は手順3へ進みます。
- 2 再生設定を選択する
[▲]または[▼]を押して「再生設定」を選び、[▶/||]を押します。

- 3 再生方法を選択する
 [▲]または[▼]を押して項目を選び、[▶/||]を押します。
 [▲]または[▼]を押して設定値を選び、[▶/||]を押します。
 ✓印は現在の設定を表します。



- 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。

- 4 メニュー画面を終了する
 [MENU]を押します。

A-Bリピートを設定する

- 1 開始点 (Aポイント) を設定する
 開始点に設定したい位置で[EDIT]を押します。
- 2 A-Bリピートを選択する
 [▲]または[▼]を押して「A-Bリピート」を選び、[▶/||]を押します。
- 3 終了点 (Bポイント) を設定する
 [EDIT]を押します。

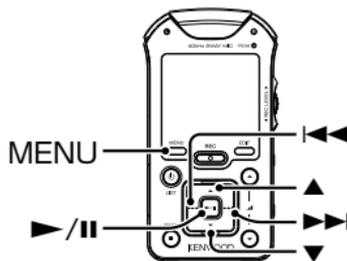


- A-Bリピートを解除するには ...
 [EDIT]を押します。
 [▲]または[▼]を押して「A-Bリピート解除」を選び、[▶/||]を押します。

- 💡 A-Bリピート中に曲を替える、または早送り／早戻しするとA-Bリピートは解除されます。
 ・ A点とB点の間隔が短すぎるとA-Bリピートの設定ができません。

再生する場所を時間で指定する

聞きたい場所を再生時間で指定します。

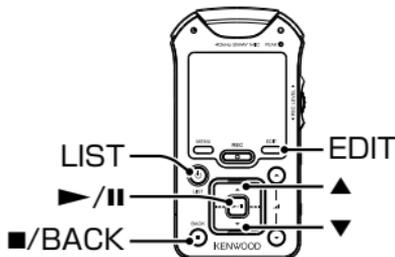


- 1 聞きたい曲を選択する
聞きたい曲を再生します。(46 ページ)
- 2 メニュー画面を表示する
[MENU]を押します。
- 3 タイムサーチを選択する
[▲]または[▼]を押して「タイムサーチ」を選び、[▶/||]を押します。
- 4 再生を開始する時間を指定する
 - [◀◀]または[▶▶]を押して「時」、「分」、「秒」を選択します。
 - [▲]または[▼]を押して時間を変更します。
- 5 指定した時間から再生を開始する
[▶/||]を押します。



お気に入り／削除する

好きな曲をお気に入りに集めておけば、いつでもまとめて聞くことができます。お気に入りには100曲まで登録できます。



お気に入りに追加する

- 1 お気に入りに追加したい曲を選択する
お気に入りに追加したい曲を再生します。またはリスト画面で選択します。(46 ページ)
- 2 ファイル編集画面を表示する
[EDIT]を押します。
- 3 お気に入りに追加する
[▲]または[▼]を押して「お気に入りに追加」を選び、[▶/||]を押します。
■ 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。



お気に入りを再生する

お気に入りの再生順はお気に入りに追加した順になります。

- 1 リスト画面を表示する
[LIST]を押します。
- 2 お気に入りを再生する
[▲]または[▼]を押して「お気に入り」を選び、[▶/||]を押して決定します。

-
- 3 聞きたい曲を選択する
[▲]または[▼]を押して曲を選び、[▶/||]を押して決定します。

お気に入りから削除する

- 1 リスト画面を表示する
[LIST]を押します。
- 2 お気に入りから削除したい曲を選択する
[▲]または[▼]を押して「お気に入り」を選び、[▶/||]を押して決定します。
[▲]または[▼]を押して削除するファイルにカーソルを合わせます。
☞ 再生画面になった場合は、[▲] を押してリスト画面にします。

- 3 ファイル編集画面を表示する
[EDIT]を押します。

- 4 お気に入りから削除する
[▲]または[▼]を押して「1曲削除」または「全曲削除」を選び、[▶/||]を押します。
- 「全曲削除」を選択した場合は…
確認画面が表示されますので、[▲]または[▼]を押して「はい」を選び、[▶/||]を押します。



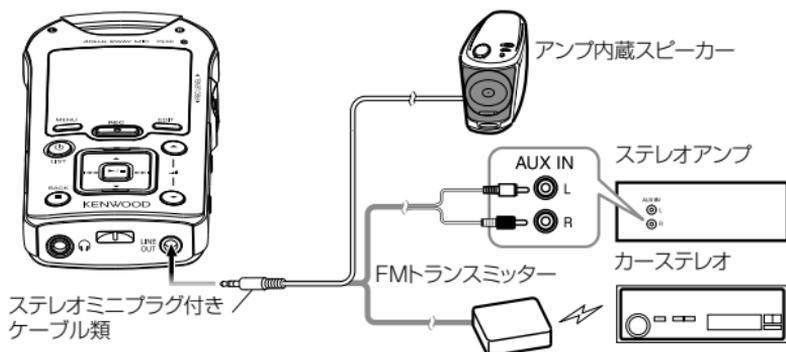
• リスト画面や再生中の画面からお気に入りに追加・削除できます。

外部機器との接続について

ライン出力端子を使うと、アンプ内蔵スピーカーなどの外部機器と接続することができます。

USB端子を使って、USB接続に対応したステレオに接続することができます。

ライン出力 (LINE OUT) 端子に接続するとき



再生する

1 本機の電源を入れる

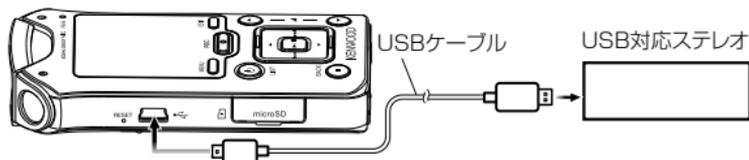
2 外部機器と接続する

本機の「LINE OUT」端子に接続します。



- 接続する外部機器の入力端子に合わせて、オーディオケーブル（市販品）を用意してください。
- FMトランスミッターをご使用の場合は、車種や周辺機器、アンテナの位置など設置環境によって、ノイズが発生することがあります。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。
- 外部機器のスピーカーで録音中の音を聞いているとき、スピーカーがマイクと近すぎると「ピー」という音（ハウリング）がする場合があります。スピーカーとマイクを離すか、スピーカーの音量を小さくしてください。

USB端子に接続するとき

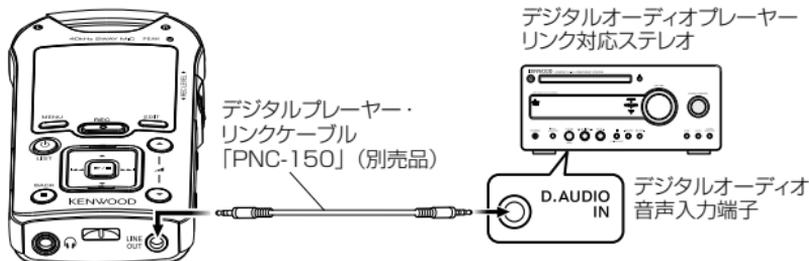


↑ 本機のUSB端子へUSBケーブルを接続する

- USB接続が可能なケンウッド製USB対応ステレオ機種については、[「http://www.kenwood.co.jp/products/information/info_usb_connection.html」](http://www.kenwood.co.jp/products/information/info_usb_connection.html)をご覧ください。
- 操作方法や再生できるファイルについては、接続したステレオの取扱説明書をご覧ください。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。
- 本機の温度が使用範囲を超えると、保護回路が働き充電できなくなります。(80 ページ「使用温度範囲」)
- 内蔵メモリとSDカードは別ドライブとして認識します。USB対応ステレオでドライブを選択できない場合は、「優先ドライブ」を変更してください。(62 ページ)
- 「DB自動更新」(62 ページ)を自動に設定している場合、ステレオの電源を切る、セレクトを切り替える、またはUSBケーブルを抜くとUSB接続が解除され、本機はデータベースの更新を行います。ステレオに再度USB接続するときは、データベースの更新が終了してから行ってください。

デジタルオーディオプレーヤーリンクについて

本機をデジタルオーディオプレーヤーリンク対応のケンウッド製オーディオ機器と接続すると、本機の再生を外部オーディオ機器から操作できます。



再生する

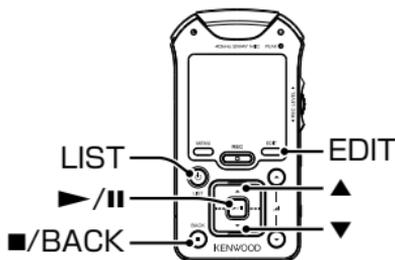
- 1 本機の電源を入れる
- 2 外部機器と接続する
本機の「LINE OUT」端子に接続します。
- 3 接続したステレオのインプットセクターをデジタルオーディオにする
接続したステレオの本体操作、およびリモコン操作で「再生/一時停止」「スキップアップ・ダウン」などが操作できます。



- デジタルオーディオプレーヤーリンク対応ステレオ機種：
AX-D7、C-iP313、CORE-A55、CLK-5i、CLK-7i、CR-A7USB、
ES-A5MD、K-521、KAF-A55、MDX-L1、NDL-100、
NDL-100MD、RD-UDA55、R-K1、R-K1000、R-K711、
R-K801、SV-3MD、SZ-3MD、U-K323、UD-A55、UD-A77、
UD-E77WSD (2010年9月現在)
- デジタルオーディオプレーヤーリンクの詳細や操作方法については、デジタルオーディオプレーヤーリンク対応オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「フォルダスキップ」操作は、アルバムから曲を選択した場合にアルバムが替わります。

ファイルを削除する

ファイルを選択して削除する



- 1 停止状態にする
[■/BACK]を押します。
- 2 リスト画面を表示する
[LIST]を押します。
- 3 削除するファイルを選択する
[▲]または[▼]を押してカテゴリやフォルダを選び、[▶/||]を押します。目的のファイルが表示されるまで繰り返し操作します。
[▲]または[▼]を押して削除するファイルにカーソルを合わせます。
曲を再生した場合は、[■/BACK] を押して停止します。
- 4 ファイル編集画面を表示する
[EDIT]を押します。
- 5 ファイルを削除する
[▲]または[▼]を押して「ファイル削除」を選び、[▶/||]を押します。確認画面が表示されますので、[▲]または[▼]を押して「はい」を選び、[▶/||]を押します。
■ 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。

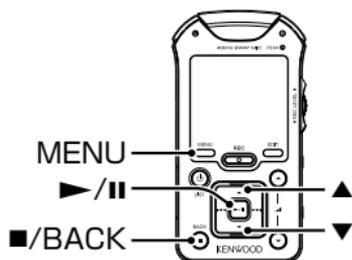


DB自動更新を手動更新に設定している場合は、ファイルを削除してもリスト画面から消えません。DBの更新を行ってください。(62 ページ)

すべてのファイルを削除する（フォーマットする）

《注意》

- フォーマットするとすべてのファイルが削除されます。
- いったんフォーマットしたメモリの内容は元に戻せません。



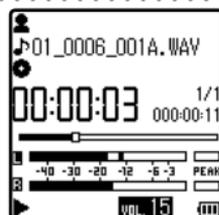
- 1 停止状態にする
[■/BACK]を押します。
- 2 メニュー画面を表示する
[MENU]を押します。
- 3 共通設定からフォーマットを選択する
[▲]または[▼]を押して「共通設定」を選び、[▶/||]を押します。
[▲]または[▼]を押して「フォーマット」を選び、[▶/||]を押します。
- 4 内蔵メモリかSDカードを選択する
[▲]または[▼]を押してフォーマットする「内蔵メモリ」または「SDカード」を選び、[▶/||]を押します。
確認画面が表示されますので、[▲]または[▼]を押して「はい」を選び、[▶/||]を押します。
■ 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。
- 5 メニュー画面を終了する
[MENU]を押します。

音量や音質を調整する

音量を調整する



- 1 音量を調整する
[] または [] を押します。
ボタンを押し続けると、徐々に音量が変わります。

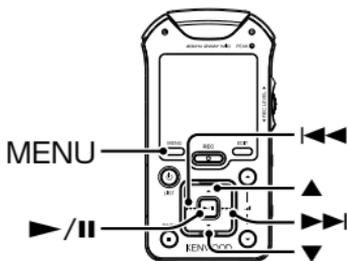


- 音量の上げすぎには十分ご注意ください。
- 内蔵スピーカーとヘッドホンでは調整できる範囲が異なります。
- 内蔵スピーカーで音量を大きくしたあと、ヘッドホンを接続すると大きな音量となります。ヘッドホンを接続する前に音量を小さくしてください。

音質を調整する (サウンドモード)

音質を8種類から選択できます。

設定値	内容	表示
オフ*	通常の音質で再生します。	
Bass/ Pops/ Rock/ Jazz/ Dance/ Voice	お好みの音質を選べます。	
カスタムサウンド	5バンドカスタムイコライザでお好みの音質を設定できます。	



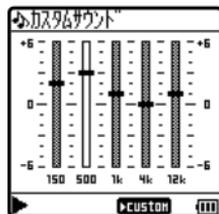
- 1 メニュー画面を表示する
再生中の画面で[MENU]を押します。
- 2 再生設定からサウンドモードを選択する
[▲]または[▼]を押して「再生設定」を選び、[▶/||]を押します。
[▲]または[▼]を押して「サウンドモード」を選び、[▶/||]を押します。

- 3 音質を選択する
[▲]または[▼]を押して音質を選び、[▶/||]を押します。
✓印は現在の設定を表します。



■「カスタムサウンド」を選択した場合は…

- 4 イコライザを設定する
 - [◀◀]または[▶▶]を押して周波数を選択します。
 - [▲]または[▼]を押してレベルを変更します。



- 5 イコライザを決定する
[▶/||]を押します。
- 6 メニュー画面を終了する
[MENU]を押します。

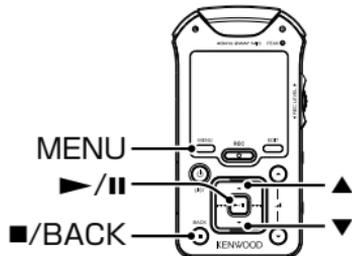
メニューの共通設定

画面の明るさの調整、オートパワーオフなど、お好みに合わせて設定できる機能があります。

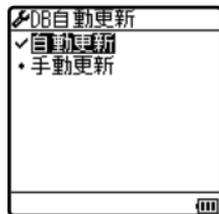
項目	設定値	内容
時計合わせ	-	日付と時計を合わせます。(24ページ)
DB自動更新	自動更新*	電源オン時やファイル編集、microSDカードの抜き差しなどを行った後に自動でDBを更新します。
	手動更新	DBの自動更新を行いません。DBの更新には、「DBを今すぐ更新」を選択してください。電源オン時に、直ぐに録音したいときなどに設定してください。
DBを今すぐ更新	いいえ/はい	DBを今すぐ更新します。再生できないファイルや見えないファイルがある場合に実行してください。
インジケータ	オフ/オン*	RECおよびPEAKインジケータを点灯するか設定します。
バックライト輝度	High/Mid*/Low	ディスプレイの明るさを選びます。
バックライト点灯時間	オフ/5秒/10秒*/30秒/60秒/常に点灯	操作をしていないとき、ディスプレイのバックライトを消すまでの時間を選びます。
LCDコントラスト	Level 1 ~ 5* ~ 10	画面の濃さを調整します。
オートパワーオフ	3分/5分*/10分/30分	録音や再生していない状態で操作をしないまま、ここで設定した時間が過ぎると、電源がオフになります。
ピーブ	オフ*/オン	ボタンを操作したときの操作確認音を鳴らすか設定します。
優先ドライブ	内蔵メモリ*/SDカード	USB接続時に優先するドライブを設定します。
タイマー設定	オフ*/スリープタイマー/アラームタイマー	スリープタイマーを使うと、設定時間後に本機の電源をオフにできます。 また、アラームタイマーを使うと、設定時間にアラーム(ピーブ音)を鳴らすことができます。(66 ページ)
言語/ Language	日本語/ ENGLISH	ディスプレイに表示するメニューなどの言語を選びます。
フォーマット	取消/内蔵メモリ/SDカード	内蔵メモリまたはSDカードをフォーマットします。(59 ページ)

項目	設定値	内容
設定リセット	いいえ/はい	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 録音ファイルや音楽ファイルは消えません。
システム情報	-	本機のシステム情報（モデルID、ファームウェアバージョン、メモリ空き容量、メモリ総容量）が表示されます。

(*印はお買い上げ時の設定です)



- 1 停止状態にする
[■/BACK]を押します。
- 2 メニュー画面を表示する
[MENU]を押します。
- 3 共通設定を選択する
[▲]または[▼]を押して「共通設定」を選び、[▶/||]を押します。
- 4 設定する項目を選択する
[▲]または[▼]を押して設定する項目を選び、[▶/||]を押します。
- 5 設定値を変える
[▲]または[▼]を押して設定値を選び、[▶/||]を押します。
✓印は現在の設定を表します。
■ 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。
- 6 メニュー画面を終了する
[MENU]を押します。

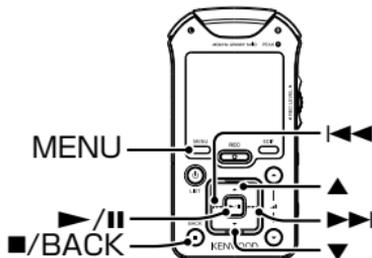


時刻を合わせる

本機の日付と時計を合わせます。

録音した日と時間が録音ファイルの名前になります（タイムスタンプ機能）。

正確に日時を設定しておくことをおすすめします。



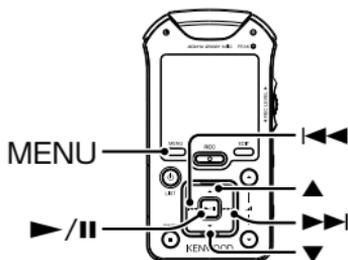
- 1 停止状態にする
[■/BACK]を押します。
- 2 メニュー画面を表示する
[MENU]を押します。
- 3 共通設定を選択する
[▲]または[▼]を押して「共通設定」を選び、[▶/||]を押します。
- 4 時計合わせを選択する
[▲]または[▼]を押して「時計合わせ」を選び、[▶/||]を押します。
- 5 日時を合わせる
 - [◀◀]または[▶▶]を押して「西暦」、「月」、「日」、「24H/AM/PM」、「時」、「分」を選択します。
 - [▲]または[▼]を押して日時を変更します。
 - 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。
- 6 日時を決定する
[▶/||]を押します。



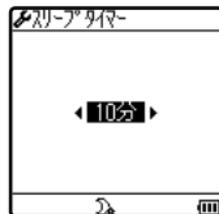
-
- 7 メニュー画面を終了する
[MENU]を押します。

スリープ/アラームタイマーを設定する

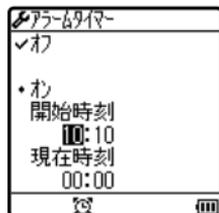
項目	内容	表示
オフ	スリープタイマーとアラームタイマーの両方をオフにします。	
スリープタイマー	設定時間後に本機の電源をオフにできます。	
アラームタイマー	設定時間にアラーム（ビープ音）を鳴らすことができます。	



- 1 停止状態にする
[■/BACK]を押します。
- 2 メニュー画面を表示する
[MENU]を押します。
- 3 共通設定からタイマー設定を選択する
[▲]または[▼]を押して「共通設定」を選び、[▶/||]を押します。
[▲]または[▼]を押して「タイマー設定」を選び、[▶/||]を押します。
- 4 スリープタイマーまたはアラームタイマーを選択する
[▲]または[▼]を押して設定するタイマーを選び、[▶/||]を押します。
- 5 動作時間を設定する
 - 「スリープタイマー」を選択した場合は…
[◀◀]または[▶▶]を押して動作時間を選択します。
スリープタイマーのみをオフにする場合は“オフ”を選択してください。



- 「アラームタイマー」を選択した場合は…
[▲]または[▼]を押して「オン」を選び、[▶/||]を押します。
アラームタイマーのみをオフにする場合は“オフ”を選択してください。
[◀◀]または[▶▶]を押して「時」、「分」を選択します。
[▲]または[▼]を押して時刻を変更します。
- 1つ前の画面に戻るときは、[■/BACK]を押します。



6 タイマーを設定する
[▶/||]を押します。

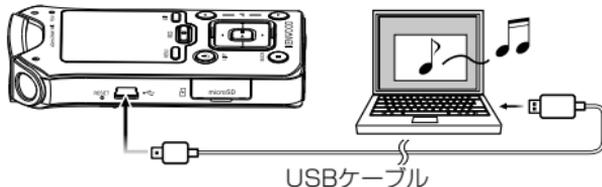
7 メニュー画面を終了する
[MENU]を押します。

- 💡• アラームタイマーは、約30秒間鳴ります。鳴っているときに何かボタンを押すとアラームは止まります。
- アラームタイマーが動作すると、アラームタイマーの設定は解除されます。
- アラームタイマーは、電源を切っても動作します。
- 録音中、USB接続中またはDBの更新中は、アラームタイマーが動作しません。また、録音中、USB接続中またはDBの更新中に設定した時刻が過ぎるとアラームタイマーの設定は解除されます。
- 電源を切るとスリープタイマーの設定は解除されます。

パソコンに接続する

パソコンに接続する

- 1 パソコンを起動する
- 2 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する
- 3 本機のUSB端子へUSBケーブルを接続する



パソコンとはUSBマストレージクラスで接続されます。

同梱のBeatJamをインストールしている場合は、パソコンに接続するとBeatJamが起動します。



- 必要なパソコンのシステム構成は「定格」(80 ページ) をご覧ください。
- 本機は、パソコンに接続すると自動的に電源がオンになります。
- USB接続は付属のUSBケーブルを使用してください。
- パソコンのUSB端子に直接接続してください。USBハブを使用して接続した場合の動作保証はいたしません。

パソコンから取り外すときは

- 1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックする
タスクトレイのインジケーターが隠れている場合は表示させてから、
[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックします。



Windows 7/ Vista



Windows XP

- 2 [ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]をクリックする



Windows 7



Windows Vista



Windows XP

- 3 安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、本機からUSBケーブルを抜く

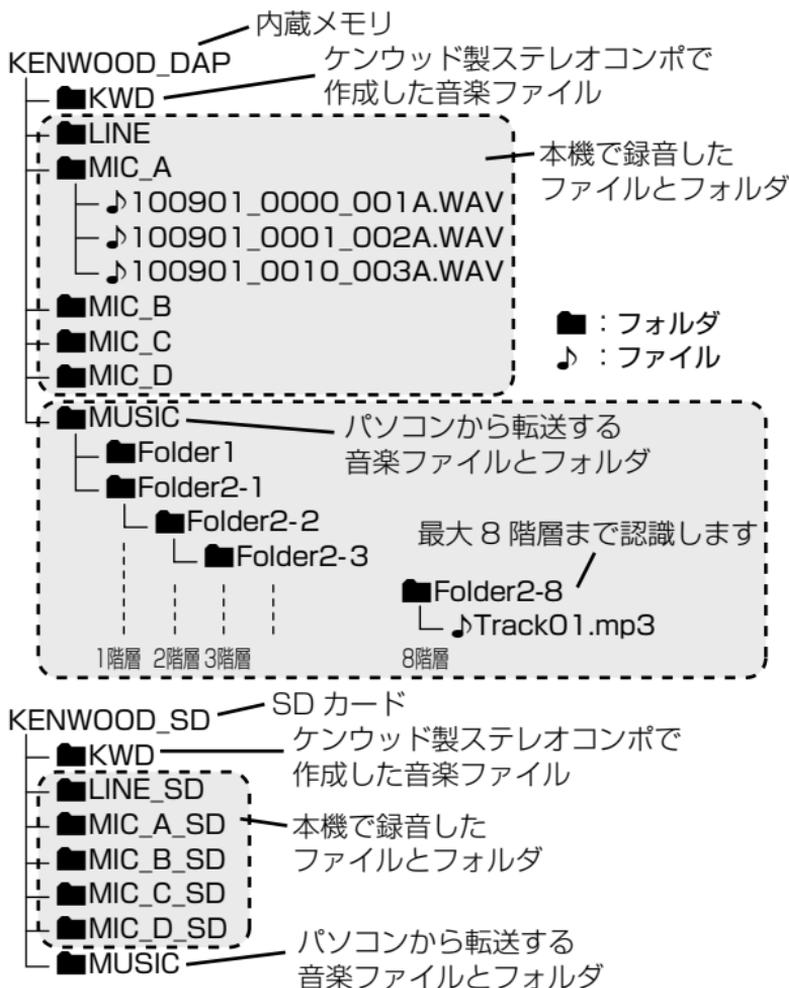
《注意》

- パソコンからデータの転送をしているときはUSBケーブルを抜かないでください。メモリ内のデータが破壊されることがあります。
- パソコンから取り外す操作を行ってから、本機を取り外してください。

フォルダとファイルの構成

本機は内蔵メモリやSDカード内に次のようなフォルダを作成し、ファイルをそのフォルダ内に保存します。

パソコンを利用して本機にファイルを転送する場合は、指定のフォルダ構成でファイルを書き込む必要があります。



パソコンを活用する



- MUSICフォルダとKWDフォルダのファイルとフォルダについて
 - 内蔵メモリおよびSDカードのMUSICフォルダとKWDフォルダを合わせて、最大3,000フォルダを認識します。
 - 内蔵メモリおよびSDカードのMUSICフォルダとKWDフォルダを合わせて、最大7,000ファイルを認識します。
 - 最大8階層まで認識します。
- MIC_AからDフォルダとLINEフォルダのファイルについて
 - 各保存フォルダ内の録音ファイルは、最大199を認識します。
 - 録音ファイルはファイル名規則（32 ページ）に沿った必要があります。パソコンで録音ファイルの名前を変更すると再生できなくなります。

録音ファイルをパソコンに取り込む

本機で録音した録音ファイルをパソコンに保存します。

BeatJamを使用して保存するとき

パソコンに保存するには、BeatJamを使用すると簡単に保存できます。

- BeatJamの操作方法は、「BeatJam」のヘルプをご覧ください。
- BeatJamでパソコンに保存した録音ファイルに、タグ情報を記録するとあとから再生するときに便利です。

Windowsのエクスプローラを使って保存するとき

- 1 本機をパソコンに接続する（68 ページ）
- 2 リムーバブルディスクを開く
「スタート」から「コンピュータ」をクリックします。
「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「リムーバブルディスク」/
「KENWOOD_SD」（SDカード）をダブルクリックします。



- 3 録音フォルダを開く
「MIC_AからD」または「LINE」フォルダをダブルクリックします。

- 4 パソコンに保存するフォルダを開く
「スタート」から「ミュージック」をクリックします。
ここでは「ミュージック」に保存する例です。



- 5 保存する録音ファイルを本機からパソコンへドラッグ&ドロップする、またはコピー&ペーストする



パソコンを活用する

- 6 パソコンから取り外す (69 ページ)

- 💡 パソコンに取り込んだ録音ファイルを本機に戻す場合は、MUSICフォルダに移してください。その際、タグ情報を記録すると再生するときに便利です。

曲をパソコンに取り込み本機に転送する

本機で再生する音楽ファイルは、まずパソコンに取り込んでおきます。次に、パソコンに取り込んである曲を、本機に転送します。

BeatJamを使用して曲をパソコンに取り込むときは

パソコンへの取り込みには、BeatJamを使用します。

- BeatJamの操作方法は、「BeatJam」のヘルプをご覧ください。
- 本機で再生できる音楽ファイルのファイル形式は、MP3、WMAおよびWAVです。詳しくは、「定格」（80 ページ）をご覧ください。

BeatJamを使用して転送するときは

パソコンから転送するには、BeatJamを使用すると簡単に転送できます。

- BeatJamの操作方法は、「BeatJam」のヘルプをご覧ください。

ドラッグ&ドロップで転送するときは

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスクから本機へドラッグ&ドロップします。コピー&ペーストでも行えます。

1 本機をパソコンに接続する（68 ページ）

2 リムーバブルディスクを開く

「スタート」から「コンピュータ」をクリックします。

「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「リムーバブルディスク」 / 「KENWOOD_SD」（SDカード）をダブルクリックします。



3 「MUSIC」フォルダを開く

「MUSIC」フォルダをダブルクリックします。

本機に転送する音楽ファイルは、必ず「MUSIC」フォルダに入れてください。詳しくは、「フォルダとファイルの構成」(70 ページ)をご覧ください。

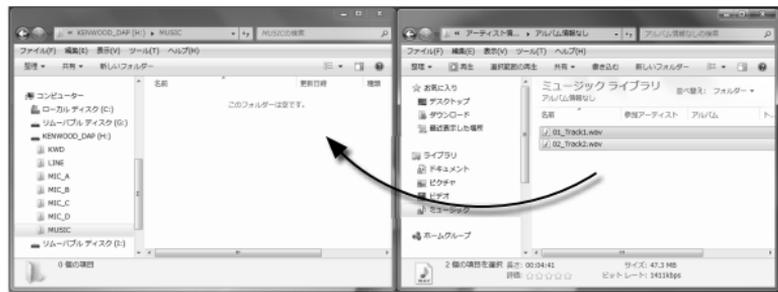
4 音楽ファイルが入っているフォルダを開く

「スタート」から「ミュージック」をクリックします。

転送する音楽ファイルまたは、音楽ファイルが入っているフォルダを選択します。



5 転送する音楽ファイルをパソコンから本機へドラッグ&ドロップする、またはコピー&ペーストする



6 パソコンから取り外す (69 ページ)

DB自動更新を手動更新に設定している場合は、音楽ファイルを転送したあとDBの更新を行ってください。(62 ページ)

音楽ファイルを削除する

本機に保存されている音楽ファイルを削除します。

BeatJamを使用して削除するときは

BeatJamを使用すると簡単に削除できます。

- BeatJamの操作方法は、「BeatJam」のヘルプをご覧ください。

エクスプローラを使って削除する

- 1 本機をパソコンに接続する（68 ページ）
- 2 リムーバブルディスクを開く
「スタート」から「コンピュータ」をクリックします。
「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「リムーバブルディスク」
/ 「KENWOOD_SD」（SDカード）をダブルクリックします。
- 3 音楽ファイルが入っているフォルダを開く
- 4 音楽ファイルをゴミ箱にドラッグ&ドロップする
- 5 パソコンから取り外す（69 ページ）

- 💡 DB自動更新を手動更新に設定している場合は、音楽ファイルを削除したあとDBの更新を行ってください。（62 ページ）

用語解説

DB (データベース) :

リスト画面で選曲できるように、音楽ファイルのタグ情報やファイル名の基礎情報を作成する機能です。

microSDカード :

SDカードの1/4程度の大きさで、SDカード規格と互換性があります。

microSDHCカード :

4GB以上の容量を持つmicroSDカードの上位規格です。

MP3 :

ISO (国際標準化機構) のワーキンググループであるMPEG が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10 から1/12 の圧縮率 (128 kbps時) が得られます。

USB :

パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機はUSB 1.1、2.0に対応しています。

USBマストレージクラス :

大容量記憶装置として分類されるUSBの機器タイプのことです。ハードディスクような大容量の記憶装置を「USBマストレージクラス」と呼びます。このような機器をパソコンに接続すると、パソコン側からはちょうどリムーバブルディスクのように見え、通常のドラッグ&ドロップ操作でファイルを簡単にやり取りすることができます。

WAV (リニアPCM) :

Windowsの標準的な非圧縮音声形式です。

WMA (Windows Media Audio) :

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

WMP (Windows Media Player) :

Microsoft社が無償で配布しているマルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアです。動画や音声の再生に使います。現在は機能が多機能化し、ジュークボックス機能や音楽作成機能、リッピング (CDからの音楽取り込み) 機能などを装備しています。

タグ情報 :

タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、音楽ファイルに書き込まれている情報です。

リッピング :

音楽CDなどのデジタルデータをパソコンに取り込むことです。

本機を廃棄するときのご注意



内蔵電池のリサイクル

本機に内蔵されているリチウムイオン充電電池は、リサイクルできる資源ですので、回収にご協力ください。

本機を廃棄するときは、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

危険



内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけません。

発熱・破裂・発火によって火災の原因となります。



内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かないでください。

火災・破裂・発熱の原因となります。



内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

電極がショートすると、破裂・発火の原因となります。

警告



内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かないでください。

けが・事故の原因となります。



内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

そのままにしておくと、目に障害がおきる原因となります。

定格

内蔵フラッシュメモリー *1

: 2 GB

ヘッドホン出力

: 3.5 mm ステレオミニジャック
: 10+10 mW/16Ω

ライン出力

: 3.5 mm ステレオミニジャック
: 700+700 mV/10kΩ

ライン入力

: 3.5 mm ステレオミニジャック
: 90 mV/18kΩ

マイク入力

: 3.5 mm ステレオミニジャック
: 4 mV/2.3kΩ

インターフェース

: USB 2.0 (USB 1.1 互換)

ディスプレイ (表示画面)

: 1.4 型モノクロ液晶ディスプレイ
(120×118ドット)

内蔵スピーカ

: 200 mW

最大フォルダ数

: 最大3,000フォルダ
(内蔵メモリとSDカードの合計)

最大ファイル数

: 最大7,000ファイル
(内蔵メモリとSDカードの合計)

最大階層数

: 9階層
(MUSIC/KWDフォルダ下に8階層まで)

収録時間 / 曲数の目安 *2

内蔵メモリ: 約33時間 / 約500曲

本体寸法 (幅×高さ×奥行)

: 52.8 mm×100.2 mm×20.8 mm

重量

: 約87 g

使用温度範囲

: 5℃～35℃ (ただし結露しないこと)

内蔵電池

: リチウムイオン充電電池

充電時間

: 約2.5時間

電池持続時間 *3

連続再生時間

WAV (44.1kHz): 約31時間
MP3 (128kbps): 約35時間
WMA (128kbps): 約29時間
(内蔵メモリの音楽ファイルを再生時)

連続録音時間

WAV (96kHz 24bit): 約16時間
WAV (44.1kHz 16bit): 約28時間
MP3 (128kbps): 約32時間
(内蔵マイクで内蔵メモリに録音時)

録音フォーマット

: WAV (44.1/48/96 kHz,
16/24 bit、ステレオ)
: MP3 (44.1 kHz、96/128/192/320
kbps、モノラル/ステレオ)

最大録音時間 (他のファイルがないとき)

内蔵メモリ/microSDカード (2GB)

WAV (96kHz、24bit): 50分
WAV (48kHz、24bit): 1時間50分
WAV (44.1kHz、24bit): 2時間
WAV (96kHz、16bit): 1時間20分
WAV (48kHz、16bit): 2時間40分
WAV (44.1kHz、16bit): 3時間
MP3 (320kbps): 13時間30分
MP3 (192kbps): 22時間30分
MP3 (128kbps): 33時間50分
MP3 (96kbps): 45時間

microSDHCカード (8GB)

WAV (96kHz、24bit): 3時間40分
WAV (48kHz、24bit): 7時間20分
WAV (44.1kHz、24bit): 8時間10分
WAV (96kHz、16bit): 5時間30分
WAV (48kHz、16bit): 11時間20分
WAV (44.1kHz、16bit): 12時間20分
MP3 (320kbps): 55時間
MP3 (192kbps): 92時間
MP3 (128kbps): 138時間
MP3 (96kbps): 184時間

* 表記はステレオの場合の目安です。

* 連続録音時は、2GBごとにファイルが分割されます。

再生可能な音楽ファイルフォーマット

MP3 (MPEG-1/2 Audio Layer 3)

拡張子: .mp3
サンプリングレート
: 8/ 11.025/ 12/ 16/ 22.05/ 24/
32/ 44.1/ 48 kHz
ビットレート: 32 ~ 320 kbps
可変ビットレート*4: 32 ~ 320 kbps
ID3タグ: ver. 1.0, 1.1, 2.2, 2.3, 2.4

WMA (Windows Media Audio)

拡張子: .wma
サンプリングレート
: 22.05/ 32/ 44.1/ 48 kHz
ビットレート: 32 ~ 320 kbps
可変ビットレート*4: 32 ~ 320 kbps
(DRM9に対応します。)
(Professional, Lossless, Voiceには
対応していません。)

WAV (リニアPCM)

拡張子: .wav
サンプリングレート
: 44.1/ 48/ 88.2/ 96 kHz
量子化ビット数: 16/ 24 bit

SDカード*5

対応SDカード
: microSDHC™カード (~ 16GB)、
microSD™カード (~ 2GB)
(SDオーディオフォーマットで録音された
ファイルは再生できません。)

必要なパソコンのシステム構成*6

OS: Microsoft® Windows® 7
Microsoft® Windows® Vista
Microsoft® Windows® XP
(日本語版のみ対応します。)
USB端子: USB 1.1/2.0 規格に準拠

• これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。

*1 実際に使用可能な領域は、システムファイル領域があるため表記の容量より少なくなります。

*2 128kbpsのMP3/WMA形式で1曲約4分の場合。

*3 付属のヘッドホン使用、バックライト点灯時間「オフ」、インジケータ「オフ」のときの目安です。保証する時間ではありません。周囲の温度や使用状況によって短くなる場合があります。microSDカードを使用しているときは、再生時間および録音時間が短くなります。

*4 可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate) の音楽ファイルは、ビットレートの範囲外になる場合があります。音とぎれや再生できないことがあります。

*5 本機は、SD規格およびSDHC規格に準拠したmicroSD/microSDHCメモリーカードの記録・再生に対応していますが、すべてのmicroSD/microSDHCメモリーカードの動作互換を保証するものではありません。詳しい情報はホームページをご覧ください。<http://www.kenwood.co.jp/faq/>

*6 適合するすべての環境について動作保証するものではありません。

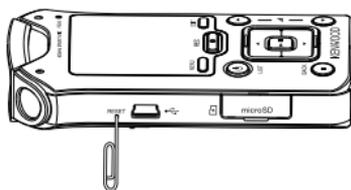
OSがプリインストールされたパソコンをご使用ください。OSをアップグレードしたパソコンや自作パソコンでの動作保証はいたしません。

故障かな？と思ったら

電源が入らない、時々電源が落ちる、正しく表示されないなど、故障と思われるような症状が発生した際には、サービス窓口にご相談になる前に下記の項目を確認してください。

1 83～84 ページの各項目を確認します。

2 本機の操作ができない場合は、リセットボタンを押します。
リセットボタンをクリップなどで押してください。リセットボタンが押されると「カチッ」と感触があります。



3 設定をリセットします。
3-1.[MENU]を押してメニュー画面を表示します。
3-2.[▲]または[▼]を押して「共通設定」を選び、[▶/■]を押します。
3-3.[▲]または[▼]を押して「設定リセット」を選び、[▶/■]を押します。
3-4.[▲]または[▼]を押して「はい」を選び、[▶/■]を押します。

4 ホームページのサポート情報をご覧ください。
ホームページにて、製品に関する一般的なご質問などの情報を提供しています。

<http://www.kenwood.co.jp/faq/>

5 ホームページにファームウェアのアップデートが記載されているか確認します。

ホームページにファームウェアのアップデートが記載されている場合は、パソコンを使用してファームウェアのアップデートを行います。アップデートの手順はホームページに記載されています。

<http://www.kenwood.co.jp/faq/>

6 左記の項目を確認しても問題が解決しないときは、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

お問い合わせの際は、「お問い合わせの前に」（87 ページ）の内容をお知らせください。

症状	対策
電源が入らない、 ボタンを押しても 操作できない。	ホールド機能が“ALL”になっています。 ➔ 背面のHOLDスイッチでホールド機能を“OFF”にしてください（21 ページ）。
	バッテリーの残量が無くなっています。 ➔ 本機とパソコンをUSBケーブルで接続してバッテリーを充電してください（19 ページ）。
	パソコンと接続中です。 ➔ 本機をパソコンに接続しているときは、本体での操作ができません。
充電してもすぐに 残量がなくなる。	バッテリーが劣化しています。 ➔ 新しい内蔵電池に交換してください。 なお、バッテリーの交換についてはお買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
ヘッドホンから音が 聞こえない。	ヘッドホンが正しく接続されていません。 ➔ ヘッドホンと本体を正しく接続してください。
充電できない。	USBケーブルが正しく接続されていません。 ➔ 本機側とパソコン側のコネクタを確認してください。
	使用温度の範囲をはずれています。 ➔ 使用温度の範囲内で充電してください（80 ページ「使用温度範囲」）。
パソコンが本機を 認識しない。	USBケーブルに不具合があります。 ➔ 別のUSBケーブルに変えて接続してください。
	パソコンと正しく接続されていません。 ➔ パソコンと本機の接続を確認してください。

▶次ページへ続く

故障かな?と思ったら

症状	対策
リスト画面やメニュー画面に英語が表示される。	共通設定メニューの言語を英語に設定しています。 → 誤って言語を設定した場合は下記の項目から言語を設定し直してください。(62 ページ「メニューの共通設定」) Common setting > Language
録音スタンバイにならない。 録音ができない。	ホールド機能が“REC”になっています。 → 背面のHOLDスイッチでホールド機能を“OFF”にしてください (21 ページ)。
	再生中に[REC]を押している。 → [■/BACK]を押し停止状態にしてから、[REC]を押すと録音スタンバイになります。
ライン入力で録音できない。	マイク入力端子にプラグを接続している。 マイク入力端子には何も接続しないでください。(36 ページ)
外部マイクで録音できない。	プラグインパワースイッチをオフ設定している。 プラグインパワー対応のコンデンサーマイクは電源の供給が必要です。プラグインパワースイッチをオンに設定してください。(35 ページ)
	ライン入力端子にプラグを接続している。 ライン入力端子には何も接続しないでください。(35 ページ)
内蔵マイクで録音できない。	ライン入力端子またはマイク入力端子にプラグを接続している。 ライン入力端子とマイク入力端子には何も接続しないでください。
外部マイクの録音で左側 (Lch) からしか聞こえない。	外部マイクにモノラルマイクを接続している。 モノラルマイクを接続した場合は、左側 (Lch) にしか録音されません。

こんなメッセージが表示されたら

表示	対策
再生できません	表示されているファイルが存在しません。 ➔ DB自動更新を手動更新に設定している場合は、ファイルを削除したり、SDカードを抜いた後に「DBを今すぐ更新」を実行してください。(62 ページ)
	DRM付きの音楽ファイルでライセンスが切れて再生できません。 ➔ ライセンスを確認して、ライセンスが切れていない音楽ファイルを転送し直してください。
	DRM付きのWMAファイルをエクスプローラで転送しました。 ➔ DRM9方式のWMAファイルは付属のBeatJamで転送してください。(DRM10方式には対応していません。)
容量が一杯です 空き容量が足りません	メモリーの空き容量が少ないときに表示されます。 ➔ ファイルを削除して空き容量を増やしてください。
ファイルが一杯です これ以上のファイルを作成できません	ファイルを管理できる最大数に達しています。 ➔ 不要なファイルを削除してください。管理できる最大ファイル数は、「録音フォルダと録音ファイルについて」(32 ページ)、「定格」(80 ページ)をご覧ください。
楽曲リストを更新中です ファイル名を更新しています	メモリー内のファイル情報を更新しています。 更新が終わるまでしばらくお待ちください。 ファイル数が多いと時間がかかる場合があります。
microSDカードを挿入して下さい microSDカードが正しく認識されません 再度挿入して下さい	microSDカードが正しく挿入されていません。 ➔本機の電源を切ってからmicroSDカードを挿入し直してください。
	本機で使用できないファイルシステムでフォーマットされています。 ➔ 本機でmicroSDカードをフォーマットしてください。(59 ページ)

▶次ページへ続く

こんなメッセージが表示されたら

表示	対策
書き込み速度が遅いです	内蔵メモリーやmicroSDカードの空きスペースが細かく断片化したときに表示されます。 ➡ 内蔵メモリーやmicroSDカードをフォーマットしてしてください。(59 ページ)
	microSDカードの中には、高音質での録音に必要な安定した転送速度が得られないものがあります。 ➡ class4以上の高速タイプ、もしくは弊社動作確認済みのmicroSDカードを使用してください。 http://www.kenwood.co.jp/faq/
電池切れです 充電して下さい	電池の残量がありません。 ➡ 充電してください。(19 ページ) ➡ パソコンのUSB端子から電源を供給しながら使用してください。(20 ページ)
ライン入力の接続を確認して下さい 外部マイクの接続を確認して下さい	録音中に接続コードが外れました。 ➡ コードの接続を確認してください。接続コードを差し直してください。

お問い合わせの前に

お問い合わせの際は、あらかじめ下記の項目をご用意ください。また、製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。

<http://www.kenwood.co.jp/faq/>

製品に関して

- 製品ご購入日
- 製品名および製品型番
- シリアル番号
本体のmicroSDカードスロットカバーの裏に貼られているシールの8桁の数字です。
- ファームウェアバージョン
共通設定メニューの「システム情報」(63ページ)でご覧になれます。

パソコン環境に関して

- OS : Windows 7、Vista、XP
- サービスパックのバージョン

不具合症状に関して

- 症状の詳細
 - 1) 何が
 - 2) どのような状況で
 - 3) どんな症状が発生したか
- 症状の頻度
 - 1) 一度だけ発生し、その後は起きていない
 - 2) 再発するが、再起動すれば発生しない
 - 3) 再起動しても発生する
 - 4) その他
- 症状発生した直前の操作内容
 - 1) 症状発生時のパソコンおよび本機の画面の状態 (パソコンおよび本機の表示)
 - 2) エラーメッセージの有無とメッセージ内容
 - 3) トラブルを解決しようとして行った操作内容

本機での録音に関して

- 不具合発生の設定について
 - 1) 録音の音源 (外部マイクの場合は、マイクの種類やメーカー名、品番)
 - 2) 録音の設定 (マイクモードなど)
 - 3) 録音先
 - 4) 録音フォーマット
WAV (____ kHz、____ bit)
MP3 (____ kbps)

録音 (リッピング) に関して

- 録音 (リッピング) ソフトウェア名とバージョン :
BeatJam® 等
- 不具合発生のファイルについて
 - 1) アーティスト名
 - 2) アルバム名
 - 3) タイトル名
 - 4) 録音 (リッピング) 方式
 - 5) ビットレート
MP3 (____ kbps、VBR)
WMA (____ kbps、VBR)
WAV (____ kHz)

※ WMAファイルの場合、著作権保護 (DRM) の有無

※ 可変ビットレート (VBR) の場合は、設定した可変の幅

microSDカードに関して

- 1) メーカー名
- 2) 品番

重要：本機の修理をご依頼のときは、メモリーの内容（録音ファイルや音楽ファイルなど）の保証はいたしません。

お問い合わせ窓口

【お電話による使いかた・商品に関するご相談】

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜日～金曜日 **9:30～18:00**
土曜日 **9:30～12:00、13:00～17:30**
※日曜、祝日及び弊社休日を除く



0570-010-114

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8960**
- ☎ 221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12

ケンウッド全国サービス網 (2010年09月現在)

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお申しつけください。
(各サービスセンターの名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください)

北海道

札幌サービスセンター ☎ (011) 807-3003
☎ 004-0005 札幌市厚別区厚別東 5 条 1-2-29

東北

仙台サービスセンター ☎ (022) 287-0151
☎ 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 7-13

関東・信越

さいたまサービスセンター ☎ (048) 778-8714
☎ 330-0812 さいたま市北区宮原町 1-202

千葉サービスセンター ☎ (04) 7171-3800
☎ 277-0863 柏市豊四季 512-10-67

横浜サービスセンター ☎ (045) 939-6242
☎ 226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2

新潟サービスセンター ☎ (025) 245-2177
☎ 950-0913 新潟市中央区鏡 1-5-23

大田サービスセンター *1
☎ 146-0082 東京都大田区池上 2-8-10 プラムビル 1F

*1 修理持込専用窓口：電話でのお問合せは、カスタマーサポートセンターにて承ります。

中部・甲州

名古屋サービスセンター ☎ (0568) 24-1644
☎ 481-0041 北名古屋市九之坪鴨田 121-1

静岡サービスセンター ☎ (054) 262-8700
☎ 420-0816 静岡市葵区沓谷 5-61-1

金沢サービスセンター ☎ (076) 269-2935
☎ 921-8062 金沢市新保本 4-65-17

近畿・四国

大阪サービスセンター ☎ (06) 6390-8005
☎ 532-0027 大阪市淀川区田川 2-4-28

高松サービスセンター ☎ (087) 802-6055
☎ 761-8057 高松市田村町 205-1

中国

広島サービスセンター ☎ (082) 241-0023
☎ 730-0825 広島市中区光南 3-9-17

九州

福岡サービスセンター ☎ (092) 283-6675
☎ 812-0031 福岡市博多区沖浜町 11-10 サンイースト福岡 1F

鹿児島サービスセンター ☎ (099) 268-0030
☎ 891-0114 鹿児島市小松原 1-5-17

沖縄サービスセンター ☎ (098) 898-3631
☎ 901-2224 宜野湾市真志喜 1-11-12 コモンズビル 1F

- ケンウッドサービスセンター 営業時間のご案内：
午前 10 時から午後 6 時まで
月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

1. 保証について

- **保証書**—製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「**お買い上げ日**」・「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間**—お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
 - ① 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
 - ② 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ③ 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
 - ④ 送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 保証書のご提示のない場合。
 - (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
 - (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
 - (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等）
 - (8) 製造番号の改変及び、取り外した製品。
 - (9) 消耗部品（例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電機、イヤークリップ等）の交換。
 - (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
7. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、サービス窓口へお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	デジタル オーディオ レコーダー	形名	MGR-E8
保証対象	本体	保証期間	(お買上げ日より) 1年間
※お買上げ日	年 月 日		
※お客様	お名前 様 ご住所 電話番号 ()		
※販売店	店名 住所 電話番号 ()		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買上げの販売店または、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3